

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014 年 12 月 18 日(18.12.2014)



(10) 国際公開番号

WO 2014/200002 A1

- (51) 国際特許分類:
A42B 1/20 (2006.01) A42B 1/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2014/065392
- (22) 国際出願日: 2014 年 6 月 10 日(10.06.2014)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2013-121553 2013 年 6 月 10 日(10.06.2013) JP
特願 2014-119117 2014 年 6 月 9 日(09.06.2014) JP
- (72) 発明者: および
- (71) 出願人: 山地 渉(YAMAJI Wataru) [JP/JP]; 〒4090502 山梨県大月市富浜町鳥沢 2 4 0 3 - 5 Yamanashi (JP).
- (74) 代理人: 土橋博司(DOBASHI Hiroshi); 〒4000062 山梨県甲府市池田 3 丁目 3 番 2 4 号 Yamanashi (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,

BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

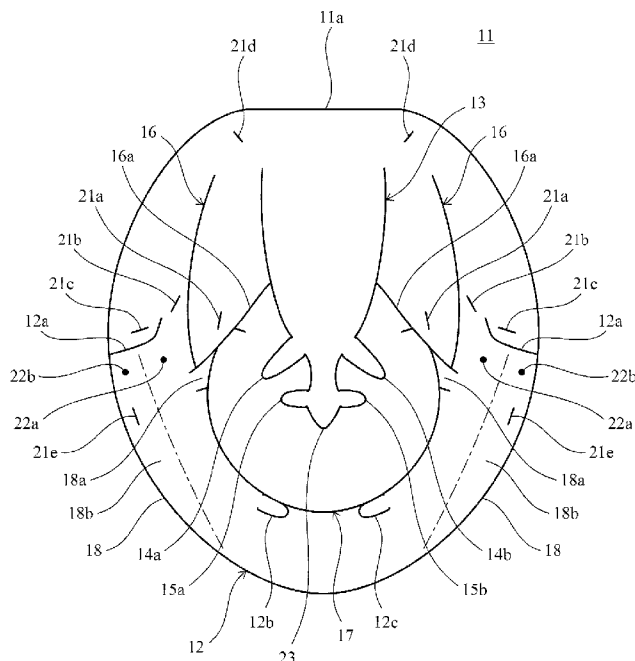
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: HAT CUT FROM SINGLE SHEET

(54) 発明の名称: 一枚のシートから切り出した帽子



(57) Abstract: [Problem] To provide a hat that is cut out from a single sheet. [Solution] The present invention is a simple hat (11) obtained from a single sheet (11a) and is configured so that when used: a U-shaped piece (13) and a pair of left and right oblong pieces (16) are assembled by inserting first engagement pieces (14a, 14b) provided on the U-shaped piece (13) into insertion openings (21a) formed in the oblong pieces (16); the U-shaped piece (13) and a peripheral piece (12) are also assembled by inserting second engagement pieces (15a, 15b) provided on the U-shaped piece into insertion openings (21c) formed in the peripheral piece (12) and, after folding the peripheral piece (12) back at specified positions, inserting engagement pieces (12b, 12c) formed on the internal edge of the peripheral piece (12) into insertion openings (21d) formed at the base of the peripheral piece (12) so that the reversed sections (18) surround the user's head; and when necessary, a visor piece (17) is installed at an appropriate position of the hat body after assembly.

(57) 要約:

[続葉有]

WO 2014/200002 A1



【課題】一枚のシートから切り出した帽子を提供する。【解決手段】本発明は一枚のシート（１１ａ）からなる簡便な帽子（１１）であり、使用時はＵ字片（１３）と左右一対の短冊片（１６）とを、前記Ｕ字片（１３）に設けた１段目の係合片（１４ａ，１４ｂ）を前記短冊片（１６）に形成した差込み口（２１ａ）に差込んで組付け、さらにＵ字片（１３）と外周片（１２）とを、前記Ｕ字片に設けた２段目の係合片（１５ａ，１５ｂ）を前記外周片（１２）に形成した差込み口（２１ｃ）に差込んで組付けるとともに、前記外周片（１２）を所定位置で折返した上で、該外周片（１２）の端部位置の内周に形成した係合片（１２ｂ，１２ｃ）を前記外周片（１２）の基部に形成した差込み口（２１ｄ）に差込んで前記反転部（１８）が使用者の頭部を囲むようにし、必要に応じて底片（１７）を組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたものである。

明 細 書

発明の名称：一枚のシートから切り出した帽子

技術分野

[0001] 本発明は一枚のシートから切り出した帽子に関するものである。

背景技術

[0002] 特開 2 0 0 9 - 5 7 6 7 4 号公報（特許文献 1 参照）には、一枚のシートからなる本体の外周をつばとし、つばの内周内に分離境界線を設けることにより、頭を覆えるクラウン部並びにクラウン部の形状を保つ保持部とが一体に形成され、クラウン部と突片のデザインを可能とする構成を特徴とするシート式帽子が示されている。

[0003] また、実開平 2 - 1 2 5 9 2 5 号公報（特許文献 2 参照）には、一枚の台紙状の材料から、庇と前額部覆片と天井部覆片と左右の側頭部覆片と、左右一対の後頭部覆片及び左右一対の係止用バンドとを分離することなく連続して切り抜き、所定の折り曲げ線に沿って折り曲げるとともに、前記左右一対の係止用バンドを係止して成形する帽子であって、前記左右一対の後頭部覆片の後端部に係止片を設け、該係止片を互いに重ね合わせて後頭部覆片に湾曲部を形成するとともに、該係止片を前記天井部覆片に形成した係止孔に係入して、前面湾曲部の弾力により天井部覆片をほぼ水平に支持するようにしたことを特徴とする帽子が示されている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献 1：特許公開 2 0 0 9 - 5 7 6 7 4 号公報

特許文献 2：実開平 2 - 1 2 5 9 2 5 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] しかしながら前記特開 2 0 0 9 - 5 7 6 7 4 号公報（特許文献 1 参照）のシート式帽子においては次のような問題点があった。

(イ) 差込み式のものにおいては、着用する者の頭頂部が覆われないために屋外用の帽子としては不向きであった。

(ロ) また、組付けに面ファスナーや留具を使用するものにあつては、コストアップを招くとともに、廃棄や商品としての包装が面倒であるという問題があった。

[0006] 実開平 2 - 1 2 5 9 2 5 号公報 (特許文献 2 参照) の帽子においては次のような問題点があった。

(イ) 係止用バンドが外向きに伸びているため、原紙の面積が大きくなってコストアップを招いてしまうという問題があった。

(ロ) また、側頭部覆片の幅が大きくなっているため、通気性において重要な側頭部が通気性をほとんど備えておらず、長期間着用すると蒸れてしまうという問題があった。

本発明は、これらの問題を解決するためになされたものである。

課題を解決するための手段

[0007] すなわち本発明の一枚のシートから切り出した帽子は、
ほぼ楕円形の一枚のシートからなり、
長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片と、
前記外周片の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に左右一対の係合片を 2 段に設けた U 字片と、
前記 U 字片と前記外周片との間の U 字部分をその中間で切断して形成した左右一対の短冊片と、
前記左右一対の短冊片の端部において切り離された庇片とを備え、
前記外周片の中間位置に一端を外周に向かって開放した切込みを形成するとともに、外周片の端部位置の内周に左右一対の係合片を形成し、
前記外周片の基部と、該外周片に形成した切込みの両側と、前記短冊片の先端部分とにそれぞれ前記係合片を差込む差込み口を形成してあり、
前記 U 字片の 1 段目の係合片を前記短冊片の先端部分の差込み口を経由して外周片に形成した切込みの内側に設けた差込み口に差込み、

前記U字片の2段目の係合片を前記外周片に形成した切込みの外側に設けた差込み口に差込み、

前記外周片を前記切込みの位置において折返して反転させ、該外周片の端部位置の内周に形成した係合片を前記外周片の基部に形成した差込み口に差込んで前記反転させた反転部が使用者の頭部を囲むようにし、

前記底片を組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことを特徴とするものである。

[0008] 本発明の一枚のシートから切り出した帽子において、前記外周片を前記切込みの位置において折返して形成した反転部は、さらに所定幅で内向きに折り返されていることをも特徴とするものである。

[0009] 本発明の一枚のシートから切り出した帽子において、前記底片は、前記U字片の先端の近傍に2段に形成された左右一对の係合片に対応する凹溝を備えており、該凹溝を前記組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことをも特徴とするものである。

[0010] また本発明の一枚のシートから切り出した帽子は、
ほぼ楕円形の一枚のシートからなり、
前記シートの長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片と、
前記外周片の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に2段に左右一对の係合片を設けたU字片と、
前記U字片と前記外周片との間のU字部分をその中間の切断部で切断して形成した左右一对の短冊片と、
前記左右一对の短冊片の端部の前記切断部において切り離された底片とを備え、
前記外周片の中間位置に一端を外周に向かって開放した切込みを形成するとともに、前記外周片の基部の外周に沿って所定間隔で一对の係合片を形成し、
前記外周片に形成した切込みの両側と、前記短冊片の先端部分と、前記外周

片の端部位置にそれぞれ前記係合片の差込み口を形成してあり、
前記U字片の1段目の係合片を前記短冊片の先端部分の差込み口を経由して
外周片に形成した切込みの内側に設けた差込み口に差込み、
前記U字片の2段目の係合片を前記外周片に形成した切込みの外側に設けた
差込み口に差込み、
前記外周片を前記切込みの位置において折返して反転させて、該反転させた
反転部が使用者の頭部を囲むようにし、
前記底片を前記外周片と反転部との間に挿入し、前記外周片の基部の外周に
沿って形成した一对の係合片を、前記底片に設けた差込み口を経由して、前
記外周片の端部位置に設けた差込み口に差込んで、帽子本体の適宜位置に取り
付けるようにしたことをも特徴とするものである。

発明の効果

[0011] 本発明は一枚のシートからなる簡便な帽子であり、使用時はU字片と左右一
対の短冊片とを、前記U字片に設けた1段目の係合片を前記短冊片に形成し
た差込み口に差込んで組付け、さらにU字片と外周片とを、前記U字片に設
けた2段目の係合片を前記外周片に形成した差込み口に差込んで組付けると
ともに、前記外周片を所定位置で折返した上で、該外周片の端部位置の内周
に形成した係合片を前記外周片の基部に形成した差込み口に差込んで前記反
転部が使用者の頭部を囲むようにし、必要に応じて前記底片を組立後の帽子
本体の適宜位置に取り付けるようにしたものである。

[0012] 以上の構成を採用したことにより、本発明の一枚のシートから切り出した帽
子は以下のような効果を奏するものである。

- a) U字片と左右一对の短冊片、短冊片と外周片との間に十分な間隙を具備
することができて通気性がよく、しかも着用する者の頭頂部が確実に覆われ
るために屋外用の帽子として好適である。
- b) また、組付けに面ファスナーや留具を使用しないため、コストアップを
招いてしまうことがなく、かつ廃棄や商品としての包装もきわめて容易であ
る。

c) 全体が楕円形の輪郭内に収まっているため、使用する一枚のシートの面積が小さく済み、コストの低減を図ることができる。

d) U字片と左右一对の短冊片、短冊片と外周片との間に十分な間隙を具備して通気性が良好であるうえ、前記外周片の反転部が使用者の頭部を囲むようにしたので側頭部も通気性を備えていて、長期間着用しても蒸れるおそれがない。

e) この発明の帽子（組立後の完成品）を着用することにより、頭上からの雨や直射日光をほぼ完全に遮ることができ、雨や紫外線の害から頭部を保護することができる。

図面の簡単な説明

[0013] [図1]本発明の第1実施例を示す平面図である。

[図2]底片を切り離し、U字片と短冊片とを組付ける状態の斜視図である。

[図3]U字片と短冊片とを組付ける状態の斜視図である。

[図4]U字片と短冊片および外周片を組付ける状態の斜視図である。

[図5]U字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

[図6]図5を背面側から見た斜視図である。

[図7]外周片の両側を折返した状態を背面側から見た斜視図である。

[図8]外周片をさらに幅方向の中ほどから折返す段階を示す斜視図である。

[図9]帽子本体が完成した状態の底面図である。

[図10]完成状態を斜め上から俯瞰した斜視図である。

[図11]帽子本体に底片を取付けようとしている状態の斜視図である。

[図12]底片の取付工程を示し、（a）は組み付け前を、（b）は組み付け途中を、（c）は組み付けた状態を示す平面図である。

[図13]組み付け完了後の前方から俯瞰した斜視図である。

[図14]その側面図である。

[図15]本発明の第2実施例を示す平面図である。

[図16]底片を切り離した状態の平面図である。

[図17]底片を切り離した状態の立体図である。

[図18] U字片と短冊片とを組付ける状態の斜視図である。

[図19] U字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

[図20] U字片と外周片を組付ける状態の斜視図である。

[図21] U字片と外周片を組付けた状態の斜視図である。

[図22] U字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

[図23] 図22を背面側から見た斜視図である。

[図24] 反転部を広げた状態を背面側から見た背面図である。

[図25] その要部拡大図である。

[図26] 反転部を外周片に連結する場合の係合片を外周片の差込み口に挿通した状態の要部拡大図である。

[図27] 反転部を外周片に連結する場合の係合片を外周片の他方の差込み口に挿通した状態の要部拡大図である。

[図28] 反転部を外周片に連結する場合の係合片を反転部の差込み口に挿通した状態の要部拡大図である。

[図29] 底片の取付工程を示し、組み付け前の状態を示す要部拡大底面図である。

[図30] 底片を外周片と反転部の間に組み付けた状態を示す要部拡大底面図である。

[図31] 係合片を組み付けた状態を示す要部拡大底面図である。

[図32] 輪ゴムを取り付けた状態を示す要部拡大底面図である。

[図33] 組み付け完了後の前方から俯瞰した斜視図である。

[図34] 本発明の第3実施例を示す平面図である。

[図35] 底片を切り離した状態の平面図である。

[図36] 底片を切り離した状態の立体図である。

[図37] U字片と短冊片を組付けた状態の斜視図である。

[図38] U字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

[図39] U字片と外周片を組付ける状態の斜視図である。

[図40] U字片と外周片を組付けた状態の斜視図である。

[図41] U字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

[図42] 図41を背面側から見た斜視図である。

[図43] 反転部を広げた状態を背面側から見た背面図である。

[図44] その要部拡大図である。

[図45] 底片の取付工程を示し、底片を外周片と反転部の間に組み付ける状態を示す要部拡大底面図である。

[図46] 底片を外周片と反転部の間に組み付けた状態の要部拡大底面図である。

[図47] 底片の差込み口に外周片の係合片を差込んだ状態を斜めから見た要部拡大底面図である。

[図48] 外周片の係合片を反転部の差込み口に差込んだ状態を示す底面図である。

[図49] 底片の外側片を反転部の差込み口に差込んだ状態を示す底面図である。

[図50] 輪ゴムを取り付けた状態を示す底面図である。

発明を実施するための形態

[0014] 以下、本発明の一枚のシートから切り出した帽子の実施の形態について、図面に基いて詳細に説明する。

本発明の第1実施例を示す図1において、本実施例の一枚のシートから切り出した帽子は以下のように構成されている。

すなわち、本実施例の帽子11は、ほぼ楕円形の一枚のシート11aからなるものである。このシート11aの素材としては、厚さが約1～3mm程度の素材を使用することが望ましく、該素材としては布や厚紙、EVA（エチレン・ビニル・アセテート）シート等の軟質プラスチックシート、断熱性のあるプラスチック製の発泡シート、あるいはこれらの複合シートのみならず、剛性のあるプラスチックシートやカーボン材等からなるFRPシート、あるいはこれらの複合シートを使用することができる。

[0015] そして前記帽子11には、前記シート11aの長さ方向の一端を残して所定

幅に切れ目を形成して設けた外周片 1 2 と、前記外周片 1 2 の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に 2 段に左右一对の係合片 1 4 a, 1 4 b および係合片 1 5 a, 1 5 b を設けた U 字片 1 3 と、前記 U 字片 1 3 と前記外周片 1 2 との間の U 字部分をその中間の切断部 1 6 a で切断して形成した左右一对の短冊片 1 6, 1 6 と、前記左右一对の短冊片 1 6, 1 6 の端部の前記切断部 1 6 a において切り離された庇片 1 7 が形成されている。

[0016] また、前記外周片 1 2 の中間位置には、一端を外周に向かって開放した切込み 1 2 a を形成するとともに、前記外周片 1 2 は前記切込み 1 2 a 位置において折返して反転される。1 8 はその反転部である。

また、前記外周片 1 2 の反転部 1 8 の端部位置の内周には、左右一对の係合片 1 2 b, 1 2 c が形成してある。

なお、前記外周片 1 2 には該反転部 1 8 においてさらに所定の幅で幅方向かつ内向きに折り返した折返し部 1 8 b が形成されている。

さらに、前記外周片 1 2 の基部と、該外周片 1 2 に形成した前記切込み 1 2 a の両側と、前記短冊片 1 6, 1 6 の先端部分とにそれぞれ前記係合片 1 2 b, 1 2 c および係合片 1 4 a, 1 4 b もしくは係合片 1 5 a, 1 5 b を差込む差込み口 2 1 a, 2 1 b, 2 1 c, 2 1 d が形成してある。

図において 2 2 a, 2 2 b は前記反転部 1 8 の折返し部分の両側において、前記切込み 1 2 a 側にそれぞれ設けた紐通し孔である。また 2 3 は前記 U 字片 1 3 の先端に設けた目隠し片である。

[0017] したがって前記一枚のシート 1 1 a からの帽子の組み立ては、以下の工程で行うことができる。

1) まず図 2 に示すように、前記左右一对の短冊片 1 6, 1 6 の端部の前記切断部 1 6 a において庇片 1 7 を切り離す。

2) 次いで、図 3 に示すように、前記 U 字片 1 3 の 1 段目の係合片 1 4 a, 1 4 b を、前記短冊片 1 6, 1 6 の先端部分の差込み口 2 1 a を経由して、外周片 1 2 に形成した切込み 1 2 a の内側に設けた差込み口 2 1 b に差込む

。

また図4および図5に示すように、前記U字片13の2段目の係合片15a, 15bを前記外周片12に形成した切込み12aの外側に設けた差込み口21cに差込む。

[0018] 3) その上で図6に示すように、前記外周片12の反転部18を前記切込み12aの位置において折返す。

その後、図7に示すように、前記外周片12の反転部18の内周に設けた係合片12b, 12cを前記外周片12の基部に設けた差込み口21dに差込む。

4) さらに図8に示すように、前記外周片12は反転部18においてさらに所定の幅で幅方向かつ内向きに折り返し、係合片18aに差込み口21eをはめ込んで止めることによりその幅を狭め、該折返し部18bが使用者の側頭部を挟むようにして使用者の頭部に装着することができる。

もちろん、前記折返し部18bの係止手段としてはステーブラやクリップ、接着剤、両面粘着テープ等を使用してもよい。

なお、帽子の組立後、接着や縫い付けにより各部位を固定したり、不要な部位を切り取ることも可能である。

図9はその完成状態を示すものであり、前記紐通し孔22a, 22bにゴム紐22cを通して結束してあり、その弾性でサイズの大小を吸収したり、長さを調節して前記外周片12のサイズを変えられるようになっている。

図10は完成状態を斜め上から俯瞰したものである。

5) 前記底片17は、図2に示すように、前記U字片13の先端の近傍に2段に形成された左右一对の係合片14a, 14bおよび係合片15a, 15bに対応する一对の凹溝17a, 17bとその間の扇形片17cおよび切込み17dを備えており、該凹溝17a, 17b、扇形片17cおよび切込み17dを前記組立後の帽子本体の適宜位置に必要な応じて取り付け、あるいは差し込む。

[0019] 前記底片17は図11に示すように、前記外周片12の折返し後の上部と折

返し後の反転部 18 との間に差込んで庇として利用することができる。

すなわち、図 12 (a) のように、完成した帽子本体の端部に向かって前記庇片 17 の開口端を向き合わせる。そして、前記帽子本体の外周片 12 の上部と折返し後の反転部 18 との間に挿入し、図 12 (b) に示すように、前記庇片 17 の凹溝 17 a を前記外周片 12 の上部と折返し後の反転部 18 を連結している係合片 12 b, 12 c に差込む。

図 12 (c) は前記帽子本体に庇片 17 を取付け終わった状態を示している。

また図 13 は組み付け完了後の前方から俯瞰した斜視図、図 14 はその側面図である。

[0020] 前記庇片 17 は、前記 U 字片 13 と前記短冊片 16, 16 との間に差込んで飾りとして利用したり、前記外周片 12 の基部とその下部に位置する反転部 18 の先端との間に差込んで後頭部の覆いとして利用することもできる。

その際、前記凹溝 17 a, 17 b が差込み位置において外周片 12 や U 字片 13、短冊片 16, 16 と係合するように装着すれば、前記庇片 17 は抜けることなく確実に帽子本体に取り付けることができる。

[0021] 以上の構成を採用したことにより、本発明は以下のような効果を奏するものである。

a) U 字片 13 と左右一对の短冊片 16, 16、短冊片 16, 16 と外周片 12 との間に十分な間隙を具備することができて通気性がよく、しかも着用する者の頭頂部が確実に覆われるために屋外用の帽子として好適である。

b) また、組付けに面ファスナーや留具を使用しないため、コストアップを招いてしまうことがなく、かつ廃棄や商品としての包装もきわめて容易である。

c) 全体が楕円形の輪郭内に収まっているため、使用する一枚のシート 11 a の面積が小さく済み、コストの低減を図ることができる。

d) U 字片 13 と左右一对の短冊片 16, 16、短冊片 16, 16 と外周片 12 との間に十分な間隙を具備していて通気性が良好であるうえ、前記外周

片 1 2 の反転部 1 8 が使用者の頭部を囲むようにしたので側頭部も通気性を備えていて、長期間着用しても蒸れるおそれがない。

e) 全体が楕円形の輪郭内に収まっているため、さまざまなデザインの印刷が簡易にできる。

[0022] 本発明の第 2 実施例を示す図 1 5 において、本実施例の一枚のシートから切り出した帽子は以下のように構成されている。

すなわち、本実施例の帽子 3 1 は、ほぼ楕円形の一枚のシート 3 1 a からなるものである。このシート 3 1 a の素材としては、第 1 実施例におけるものと同様のものでよい。

[0023] そして前記帽子 3 1 には、前記シート 3 1 a の長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片 3 2 と、前記外周片 3 2 の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に 2 段に左右一对の係合片 3 4 a, 3 4 b および係合片 3 5 a, 3 5 b を設けた U 字片 3 3 と、前記 U 字片 3 3 と前記外周片 3 2 との間の U 字部分をその中間の切断部 3 6 a で切断して形成した左右一对の短冊片 3 6, 3 6 と、前記左右一对の短冊片 3 6, 3 6 の端部の前記切断部 3 6 a において切り離された庇片 3 7 が形成されている。

[0024] また、前記外周片 3 2 の中間位置には、一端を外周に向かって開放した切込み 3 2 a を形成するとともに、前記外周片 3 2 は前記切込み 3 2 a 位置において折返して反転される。3 8 はその反転部である。

また、前記外周片 3 2 の反転部 3 8 の端部位置の内周近傍には、左右一对の係合片 3 2 b, 3 2 c が形成してある。

さらに、前記短冊片 3 6, 3 6 の先端部分と、前記外周片 3 2 に形成した前記切込み 3 2 a の両側および外周片の反転位置と、前記外周片 3 2 の基部にそれぞれ前記係合片 3 2 b, 3 2 c および係合片 3 4 a, 3 4 b もしくは係合片 3 5 a, 3 5 b を差込む差込み口 4 1 a, 4 1 b, 4 1 c, 4 1 d, 4 1 e, 4 1 f, 4 1 g が形成してある。

図において 4 2 a, 4 2 b, 4 2 c は前記反転部 3 8 の切込み 3 2 a 側に所

定間隔で設けた輪ゴム係合片である。また43は前記U字片13の先端に設けた目隠し片である。

[0025] したがって前記一枚のシート31aからの帽子の組み立ては、以下の工程で行うことができる。

1) まず図16及び図17に示すように、前記左右一对の短冊片36, 36の端部の前記切断部36aにおいて底片37を切り離す。

2) 次に、図18に示すように、前記U字片33の1段目の係合片34a, 34bを、前記短冊片36, 36の先端部分の差込み口41aを経由して、図19に示すように、外周片32に形成した切込み32aの内側に設けた差込み口41bに差込む。

また図20および図21に示すように、前記U字片33の2段目の係合片35a, 35bを前記外周片32に形成した切込み32aの外側に設けた差込み口41cに差込む。

[0026] 3) その上で図22、図23に示すように、前記外周片32の反転部38を前記切込み32aの位置において折返す。

その後、図24および図25に示すように、前記U字片33の1段目の係合片34a, 34bを前記外周片32の反転部に設けた差込み口41dに差込む。

4) さらに図26に示すように、前記外周片32の反転部38の内周近傍に設けた前記係合片32b, 32cを前記外周片32の基部に設けた2つの差込み口41eの第1差込み口に差込み、図27に示すように第2差込み口41eから前記係合片32b, 32cの先端を引き出す。その上で、図28に示すように、前記係合片32b, 32cの先端を前記外周片32の反転部38の内周近傍に設けた前記係合片32b, 32cの近くに配置した差込み口41fに差込む。

5) 前記底片37は、図29に示すように、前記U字片33の先端の近傍に2段に形成された左右一对の係合片34a, 34bおよび係合片35a, 35bに対応する一对の凹溝37a, 37bとその間の扇形片37c、外側片

37dを備えており、該扇形片37c、外側片37dを前記組立後の帽子本体の適宜位置に必要な応じて取り付け、あるいは差し込む。

[0027] 前記底片37は図30に示すように、前記外周片32の折返し後の上部と折返し後の反転部38との間に差込んで底として利用することができる。

すなわち、図30のように、前記底片37の開口端を向き合わせ、前記帽子本体の外周片32の上部と折返し後の反転部38との間に挿入して前記底片37の扇形片37cと外側片37dを前記外周片32の上部と折返し後の反転部38を連結している係合片32b、32cを挟むように差し込む。

次いで、図31に示すように、前記外側片37dの先端を折り返して前記係合片32b、32cからやや離して配置した差込み口41gに差し込む。

図32はその完成状態を示すものであり、前記反転部38の切込み32a側に所定間隔で設けた輪ゴム係合片42a、42b、42cのどれかに輪ゴム44を係合させてあり、その弾性でサイズの大小を吸収したり、長さを調節して前記外周片32のサイズを変えられるようになっている。

図33は輪ゴムを取り付けた状態を示すものである。

[0028] 本発明の第3実施例を示す図34において、本実施例の一枚のシートから切り出した帽子は以下のように構成されている。

すなわち、本実施例の帽子51は、ほぼ楕円形の一枚のシート51aからなるものである。このシート51aの素材としては、第1実施例におけるものと同様のものでよい。

[0029] そして前記帽子51には、前記シート51aの長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片52と、前記外周片52の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に2段に左右一対の係合片54a、54bおよび係合片55a、55bを設けたU字片53と、前記U字片53と前記外周片52との間のU字部分をその中間の切断部56aで切断して形成した左右一対の短冊片56、56と、前記左右一対の短冊片56、56の端部の前記切断部56aにおいて切り離された底片57が形成されている。この底片57の開口部には前記係合片54a、54bもしくは係合片55

a, 5 5 b に対応して扇形片 5 7 a と外側片 5 7 b が形成されている。6 1 e は前記扇形片 5 7 a と外側片 5 7 b の間において、庇片 5 7 に形成された差込み口である。

[0030] また、前記外周片 5 2 の中間位置には、一端を外周に向かって開放した切込み 5 2 a を形成するとともに、前記外周片 5 2 は前記切込み 5 2 a 位置において折返して反転される。5 8 はその反転部である。

さらに、前記外周片 5 2 の基部の外周に沿って、所定間隔で一对の係合片 5 2 b, 5 2 c が形成してある。

そして、前記短冊片 5 6, 5 6 の先端部分と、前記外周片 5 2 に形成した前記切込み 5 2 a の両側および外周片の反転位置と、前記外周片 5 2 の基部にそれぞれ前記係合片 5 2 b, 5 2 c および係合片 5 4 a, 5 4 b もしくは係合片 5 5 a, 5 5 b を差込む差込み口 6 1 a, 6 1 b, 6 1 c, 6 1 d, 6 1 e, 6 1 f, 6 1 g が形成してある。

図において 6 2 a, 6 2 b, 6 2 c は前記反転部 5 8 の切込み 5 2 a 側に所定間隔で設けた輪ゴム係合片である。また 6 3 は前記 U 字片 1 3 の先端に設けた目隠し片である。

[0031] したがって前記一枚のシート 5 1 a からの帽子の組み立ては、以下の工程で行うことができる。

1) まず図 3 5 及び図 3 6 に示すように、前記左右一对の短冊片 5 6, 5 6 の端部の前記切断部 5 6 a において庇片 5 7 を切り離す。

2) 次に、図 3 7 に示すように、前記 U 字片 5 3 の 1 段目の係合片 5 4 a, 5 4 b を、前記短冊片 5 6, 5 6 の先端部分の差込み口 6 1 a を経由して、図 3 8 に示すように、外周片 5 2 に形成した切込み 5 2 a の内側に設けた差込み口 6 1 b に差込む。

また図 3 9 および図 4 0 に示すように、前記 U 字片 5 3 の 2 段目の係合片 5 5 a, 5 5 b を前記外周片 5 2 に形成した切込み 5 2 a の外側に設けた差込み口 6 1 c に差込む。

[0032] 3) その上で図 4 1、図 4 2 に示すように、前記外周片 5 2 の反転部 5 8 を

前記切込み 5 2 a の位置において折返す。

その後、図 4 3 および図 4 4 に示すように、前記 U 字片 5 3 の 1 段目の係合片 5 4 a, 5 4 b を前記外周片 5 2 の反転部に設けた差込み口 6 1 d に差込む。

[0033] 4) 前記底片 5 7 は図 4 5 以下に示すように、前記外周片 5 2 の折返し後の上部と折返し後の反転部 5 8 との間に差込んで庇として利用することができる。

すなわち、図 4 5 のように、前記底片 5 7 の開口端を向き合わせ、前記帽子本体の外周片 5 2 の上部と折返し後の反転部 5 8 との間に差込む。

5) 次いで、図 4 6 および図 4 7 に示すように、前記外周片 5 2 の基部の外周に沿って形成した一对の係合片 5 2 b, 5 2 c を、底片 5 7 の前記扇形片 5 7 a と外側片 5 7 b の間において、底片 5 7 に形成された差込み口 6 1 e に差込み、その上で、図 4 8 に示すように、前記外周片 5 2 の先端に形成した差込み口 6 1 f に差込む。

次いで、図 4 9 に示すように、前記外側片 5 7 b を外周片 5 2 の内側から折返し、前記外周片 5 2 の先端に形成したもう一方の差込み口 6 1 g に差込む。

[0034] 図 5 0 はその完成状態を示すものであり、前記反転部 5 8 の切込み 5 2 a 側に所定間隔で設けた輪ゴム係合片 6 2 a, 6 2 b, 6 2 c のどれかに輪ゴム 6 4 を係合させてあり、その弾性でサイズの大小を吸収したり、長さを調節して前記外周片 5 2 のサイズを変えられるようになっている。

産業上の利用可能性

[0035] 本発明の一枚のシートから切り出した帽子は以上のように構成したので、屋外イベントやスポーツ観戦等の際に、帽子の素材となる一枚のシートを販売あるいは提供することにより、利用者が簡単に組み立てることができるので非常に便利である。

もちろん、屋外イベントやスポーツ観戦等の際のみならず、販売促進用のグッズとして、あるいはハイキングなどすべての屋外活動での日除けや雨除け

などの用途に適宜利用することができる。

符号の説明

- [0036] 1 1 帽子
- 1 1 a 一枚のシート
- 1 2 外周片
- 1 2 a 切込み
- 1 2 b, 1 2 c 係合片
- 1 3 U字片
- 1 4 a, 1 4 b 係合片
- 1 5 a, 1 5 b 係合片
- 1 6, 1 6 短冊片
- 1 6 a 切断部
- 1 7 底片
- 1 7 a, 1 7 b 凹溝
- 1 7 c 扇形片
- 1 7 d 切込み
- 1 8 反転部
- 1 8 a 係合片
- 1 8 b 折返し部
- 2 1 a, 2 1 b, 2 1 c, 2 1 d, 2 1 e 差込み口
- 2 2 a, 2 2 b 紐通し孔
- 2 2 c ゴム紐
- 2 3 目隠し片
- 3 1 帽子
- 3 1 a 一枚のシート
- 3 2 外周片
- 3 2 a 切込み
- 3 2 b, 3 2 c 係合片

3 3 U字片

3 4 a, 3 4 b 係合片

3 5 a, 3 5 b 係合片

3 6, 3 6 短冊片

3 6 a 切断部

3 7 庇片

3 7 a, 3 7 b 凹溝

3 7 c 扇形片

3 7 d 外側片

3 8 反転部

4 1 a, 4 1 b, 4 1 c, 4 1 d, 4 1 e, 4 1 f, 4 1 g 差込み口

4 2 a, 4 2 b, 4 2 c 輪ゴム係合片

4 3 目隠し片

5 1 帽子

5 1 a 一枚のシート

5 2 外周片

5 2 a 切込み

5 2 b, 5 2 c 係合片

5 3 U字片

5 4 a, 5 4 b 係合片

5 5 a, 5 5 b 係合片

5 6, 5 6 短冊片

5 6 a 切断部

5 7 庇片

5 7 a 扇形片

5 7 b 外側片

5 8 反転部

6 1 a, 6 1 b, 6 1 c, 6 1 d, 6 1 e, 6 1 f, 6 1 g 差込み口

6 2 a, 6 2 b, 6 2 c 輪ゴム係合片

6 3 目隠し片

請求の範囲

- [請求項1] ほぼ楕円形の一枚のシートからなり、
長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片と、
前記外周片の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に左右一対の係合片を2段に設けたU字片と、
前記U字片と前記外周片との間のU字部分をその中間で切断して形成した左右一対の短冊片と、
前記左右一対の短冊片の端部において切り離された底片とを備え、
前記外周片の中間位置に一端を外周に向かって開放した切込みを形成するとともに、外周片の端部位置の内周に左右一対の係合片を形成し、
、
前記外周片の基部と、該外周片に形成した切込みの両側と、前記短冊片の先端部分とにそれぞれ前記係合片を差込む差込み口を形成してあり、
前記U字片の1段目の係合片を前記短冊片の先端部分の差込み口を経由して外周片に形成した切込みの内側に設けた差込み口に差込み、
前記U字片の2段目の係合片を前記外周片に形成した切込みの外側に設けた差込み口に差込み、
前記外周片を前記切込みの位置において折返して反転させ、該外周片の端部位置の内周に形成した係合片を前記外周片の基部に形成した差込み口に差込んで前記反転させた反転部が使用者の頭部を囲むようにし、
前記底片を組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことを特徴とする一枚のシートから切り出した帽子。
- [請求項2] 前記外周片を前記切込みの位置において折返して形成した反転部は、さらに所定幅で内向きに折り返されていることを特徴とする請求項1に記載の一枚のシートから切り出した帽子。
- [請求項3] 前記底片は、前記U字片の先端の近傍に2段に形成された左右一対の

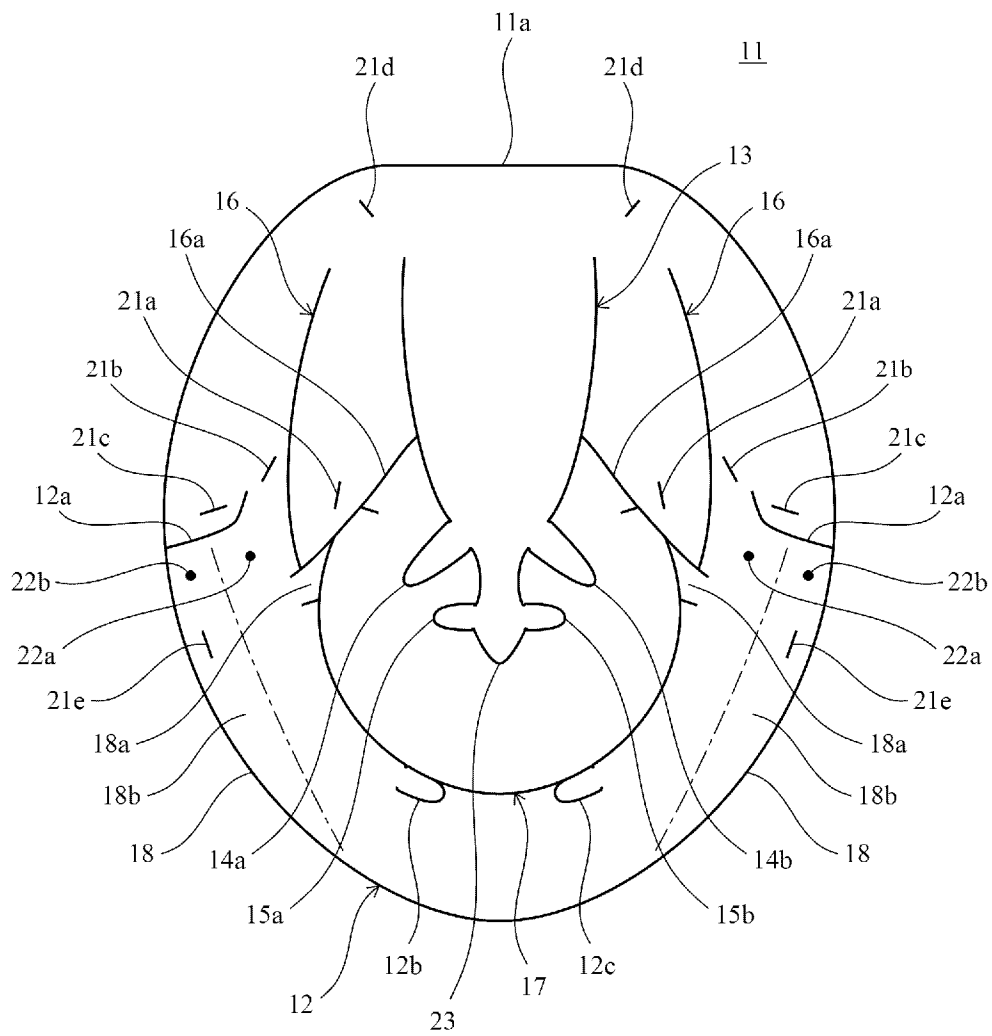
係合片に対応する凹溝を備えており、該凹溝を前記組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の一枚のシートから切り出した帽子。

[請求項4]

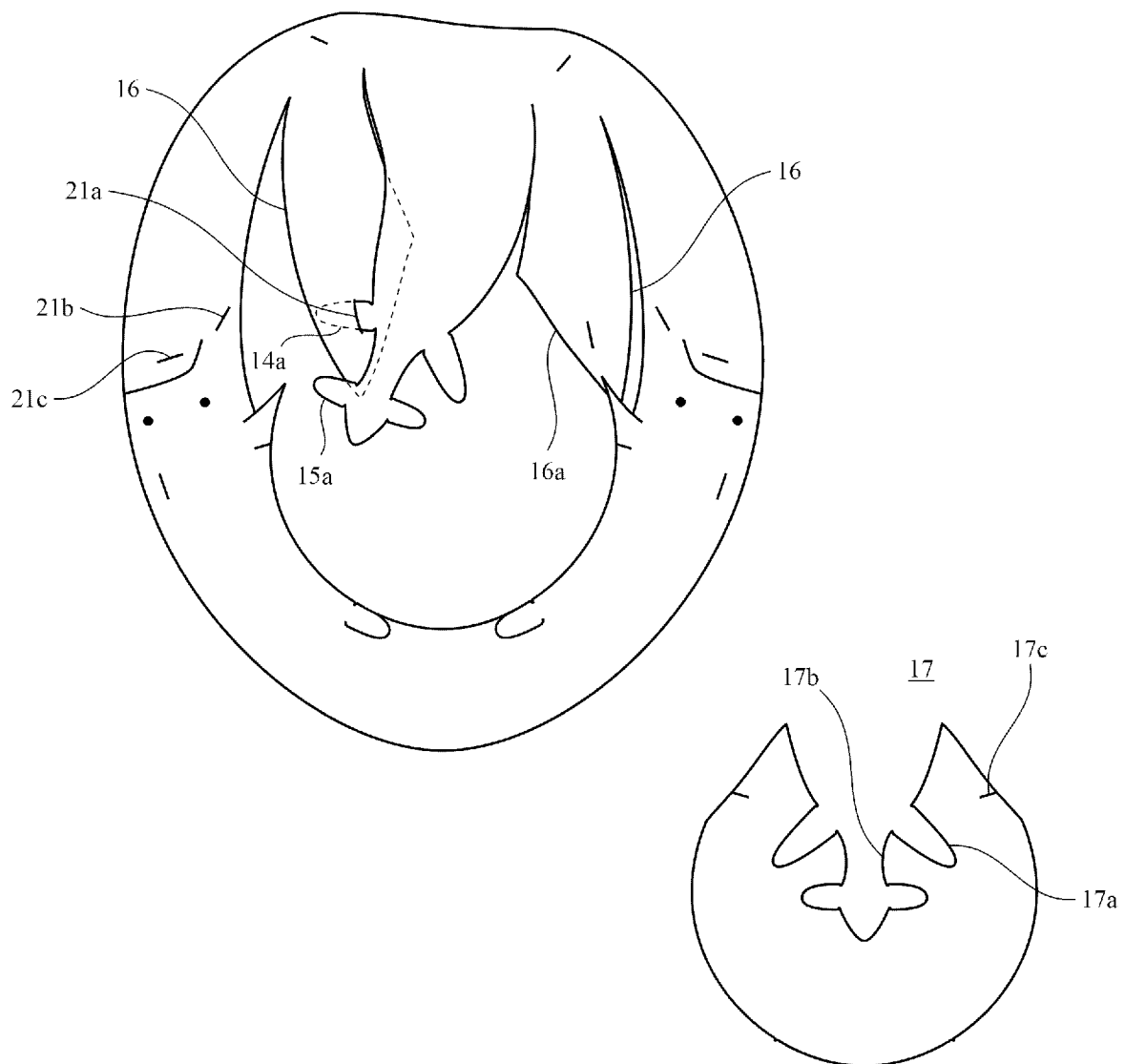
ほぼ楕円形の一枚のシートからなり、
前記シートの長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片と、
前記外周片の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に 2 段に左右一对の係合片を設けた U 字片と、
前記 U 字片と前記外周片との間の U 字部分をその中間の切断部で切断して形成した左右一对の短冊片と、
前記左右一对の短冊片の端部の前記切断部において切り離された底片とを備え、
前記外周片の中間位置に一端を外周に向かって開放した切込みを形成するとともに、前記外周片の基部の外周に沿って所定間隔で一对の係合片を形成し、
前記外周片に形成した切込みの両側と、前記短冊片の先端部分と、前記外周片の端部位置にそれぞれ前記係合片の差込み口を形成してあり、
前記 U 字片の 1 段目の係合片を前記短冊片の先端部分の差込み口を経由して外周片に形成した切込みの内側に設けた差込み口に差込み、
前記 U 字片の 2 段目の係合片を前記外周片に形成した切込みの外側に設けた差込み口に差込み、
前記外周片を前記切込みの位置において折返して反転させて、該反転させた反転部が使用者の頭部を囲むようにし、
前記底片を前記外周片と反転部との間に挿入し、前記外周片の基部の外周に沿って形成した一对の係合片を、前記底片に設けた差込み口を経由して、前記外周片の端部位置に設けた差込み口に差込んで、帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことを特徴とする一枚のシー

トから切り出した帽子。

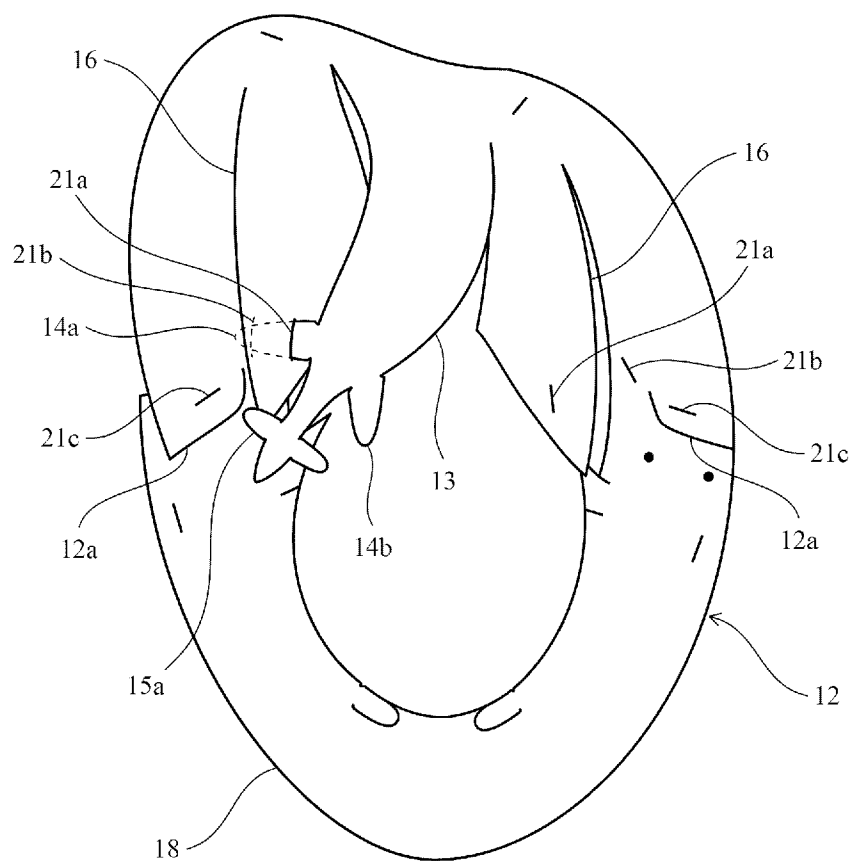
[図1]



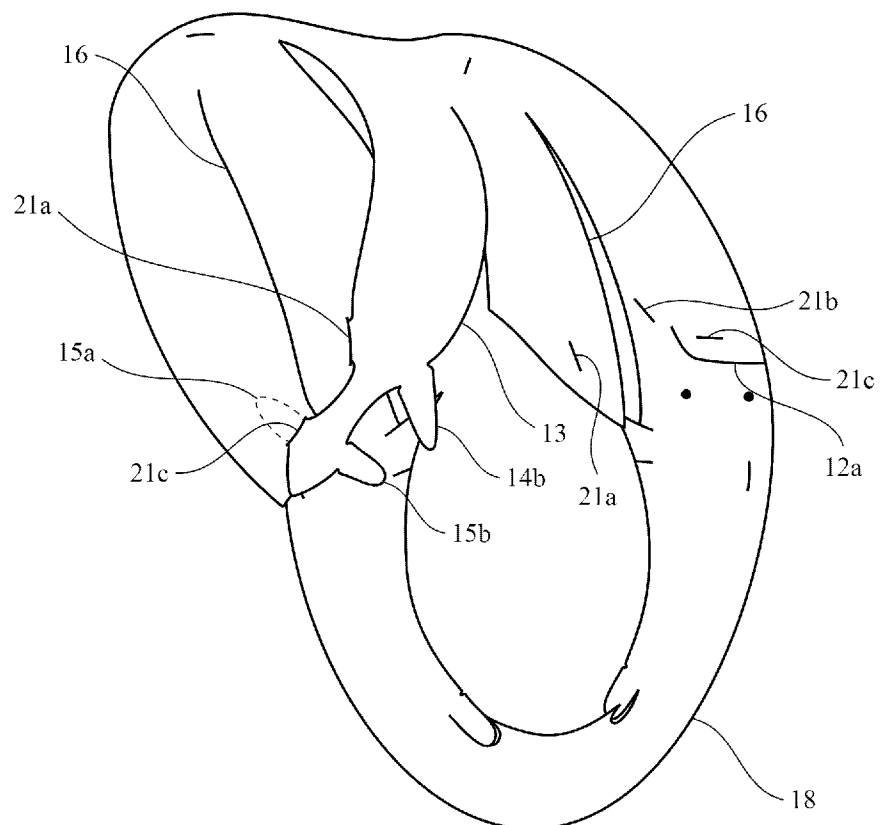
[図2]



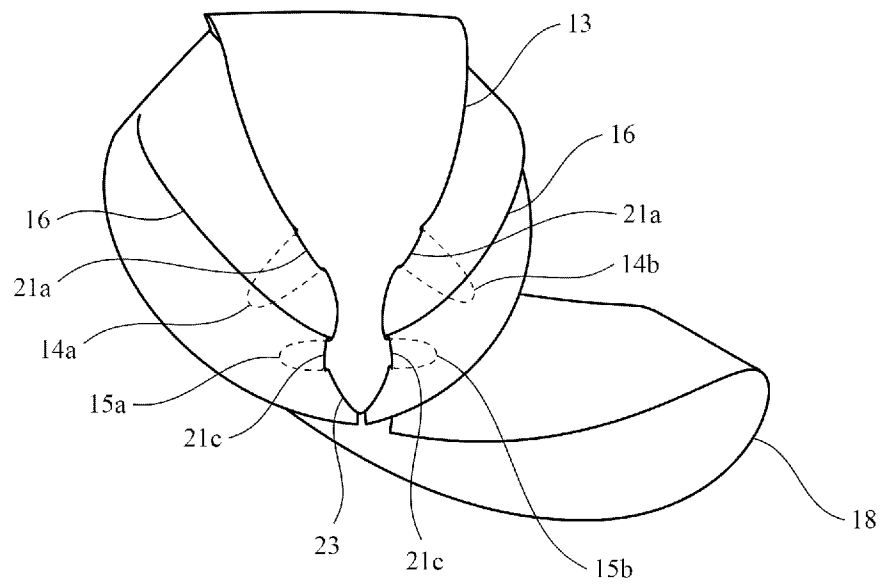
[図3]



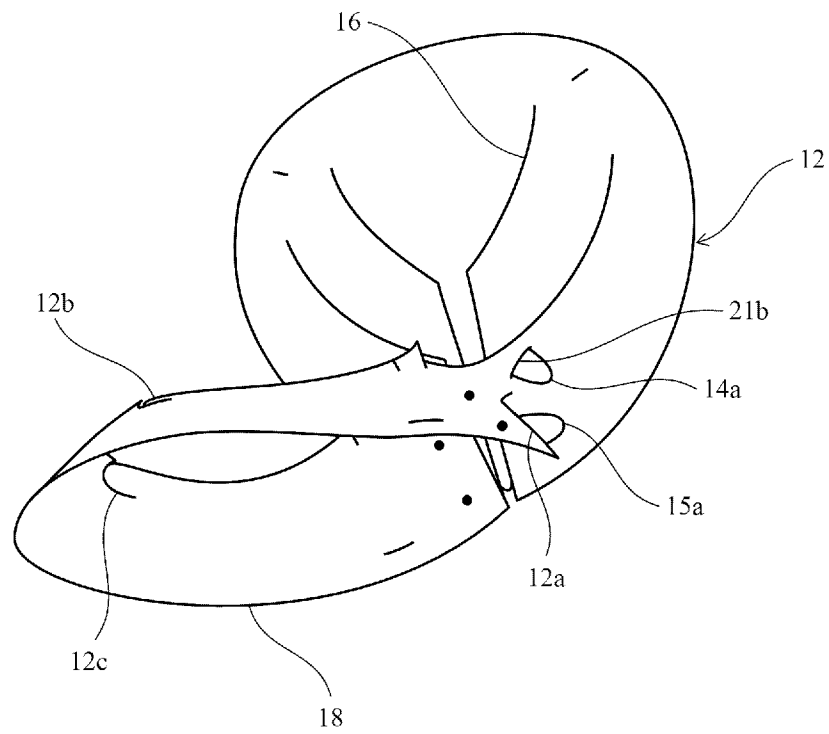
[図4]



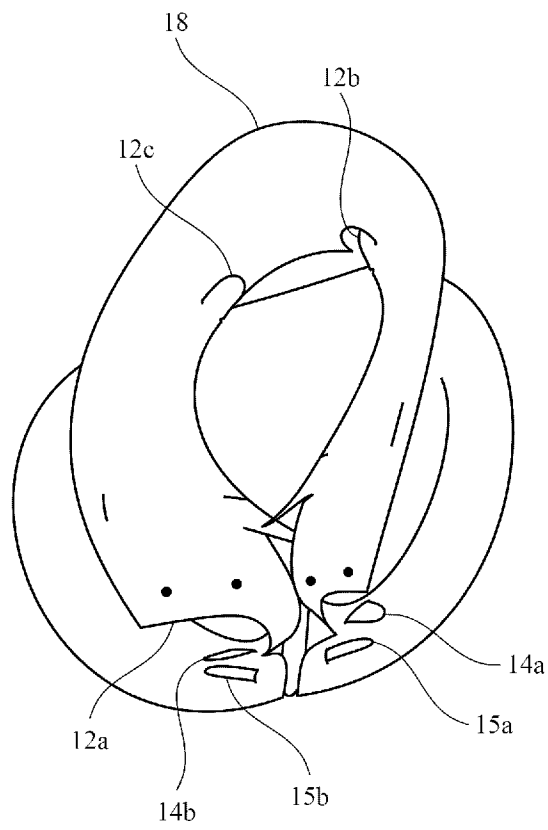
[図5]



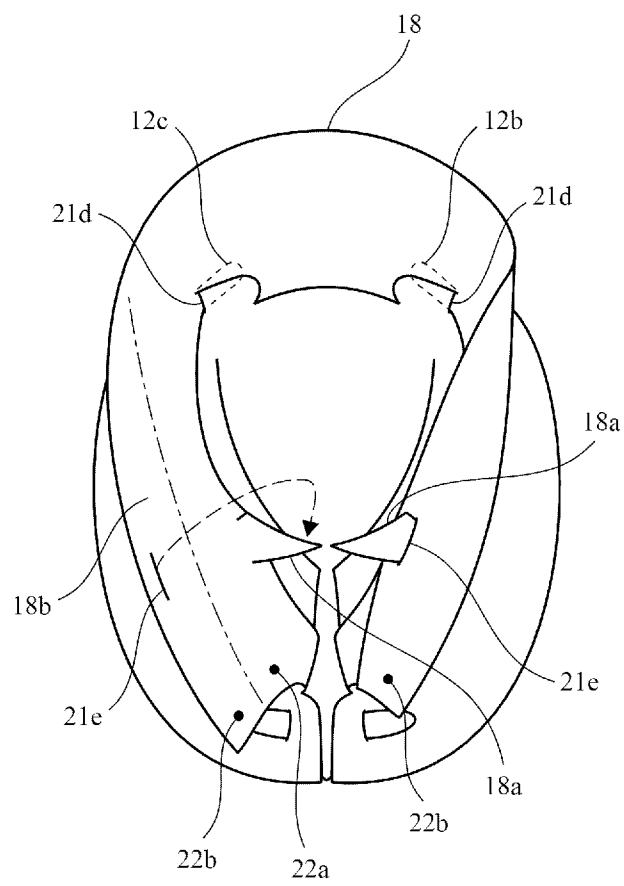
[図6]



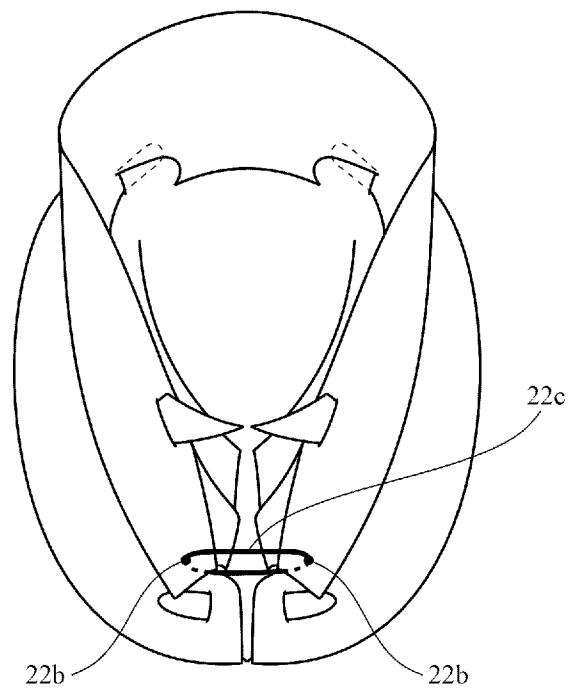
[図7]



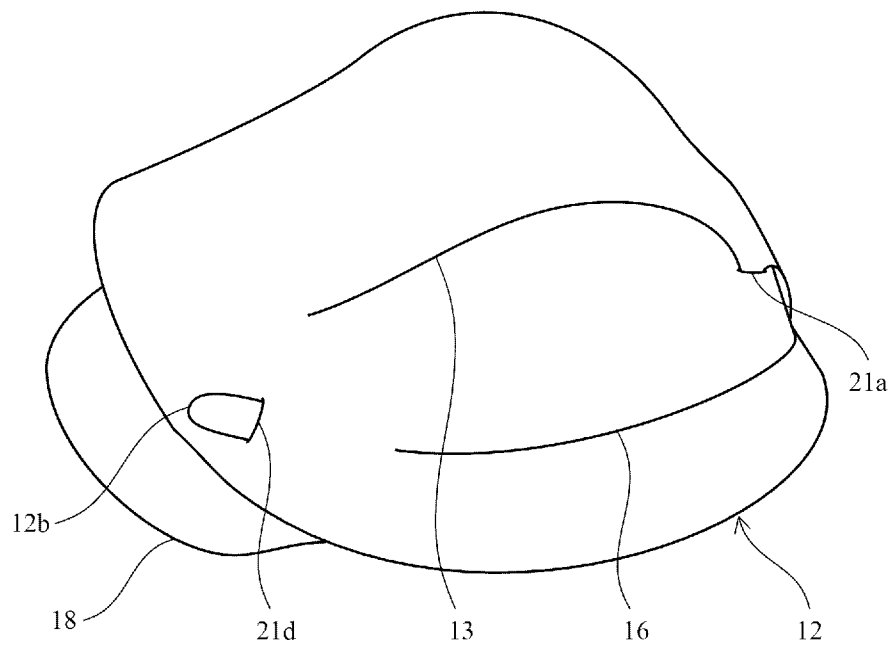
[図8]



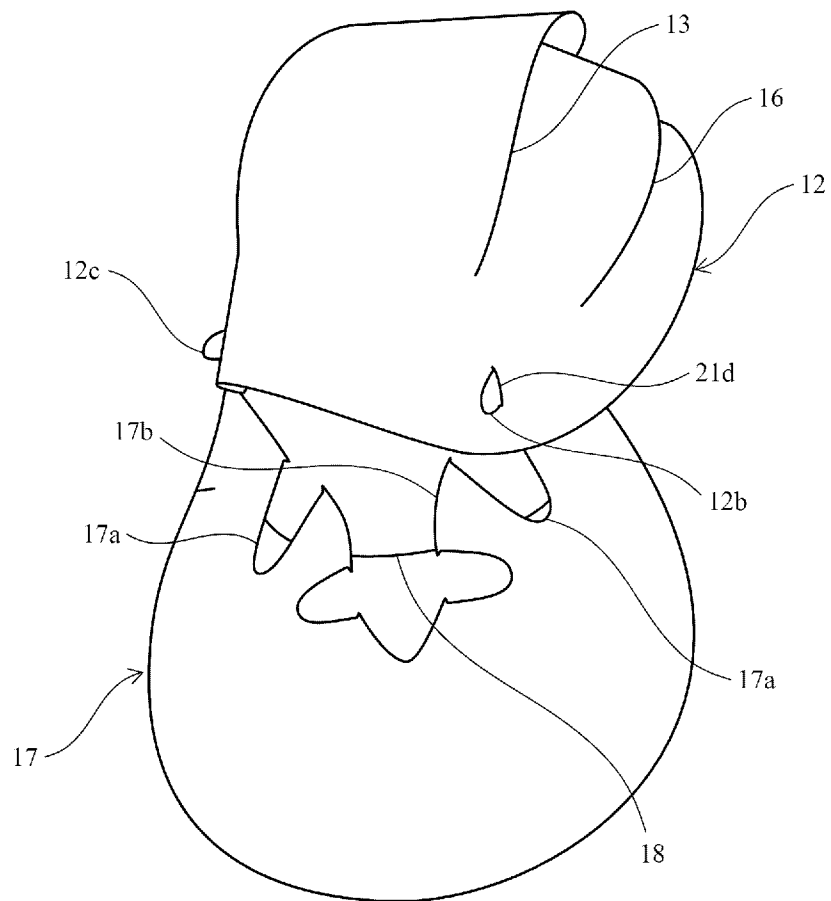
[図9]



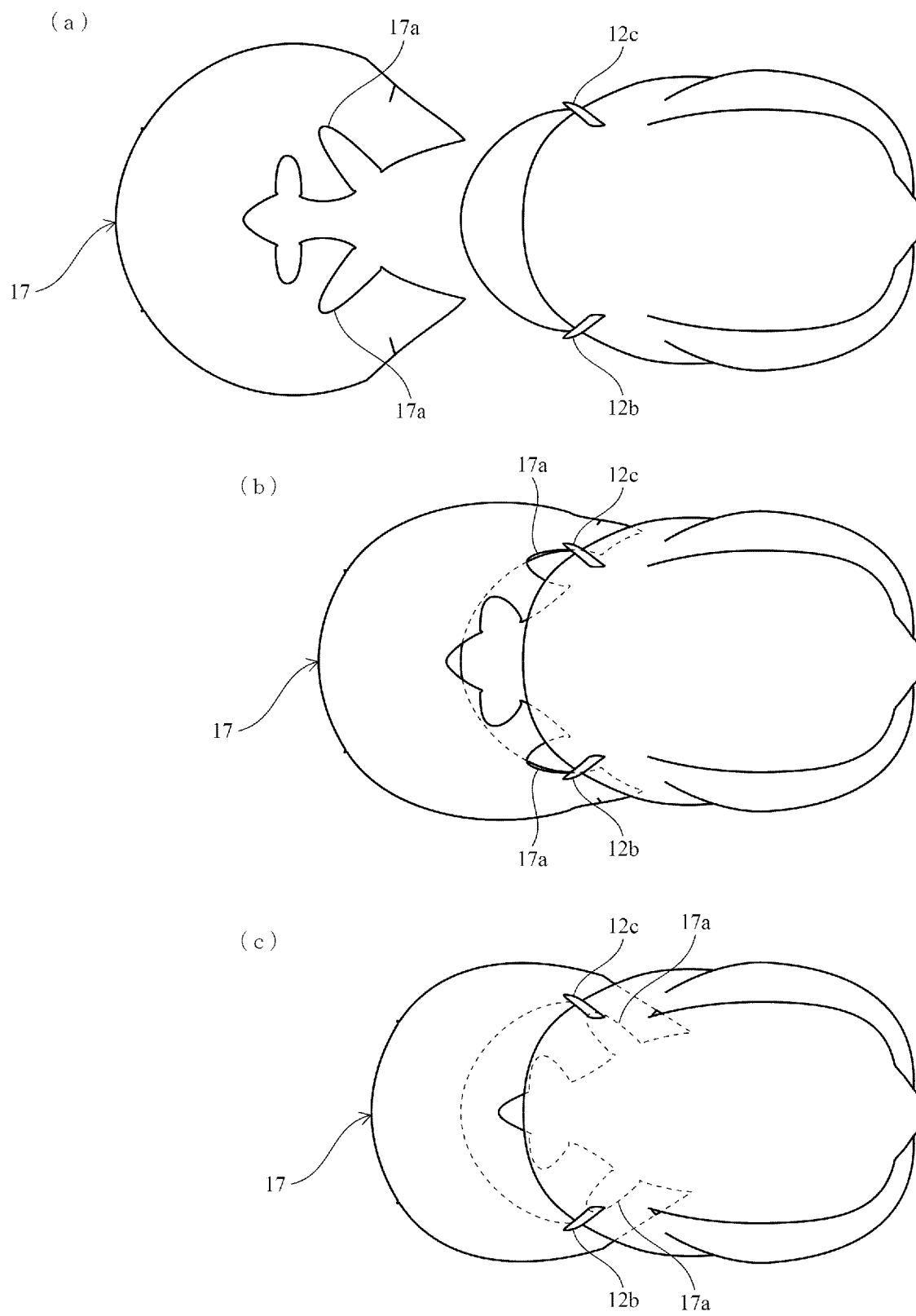
[図10]



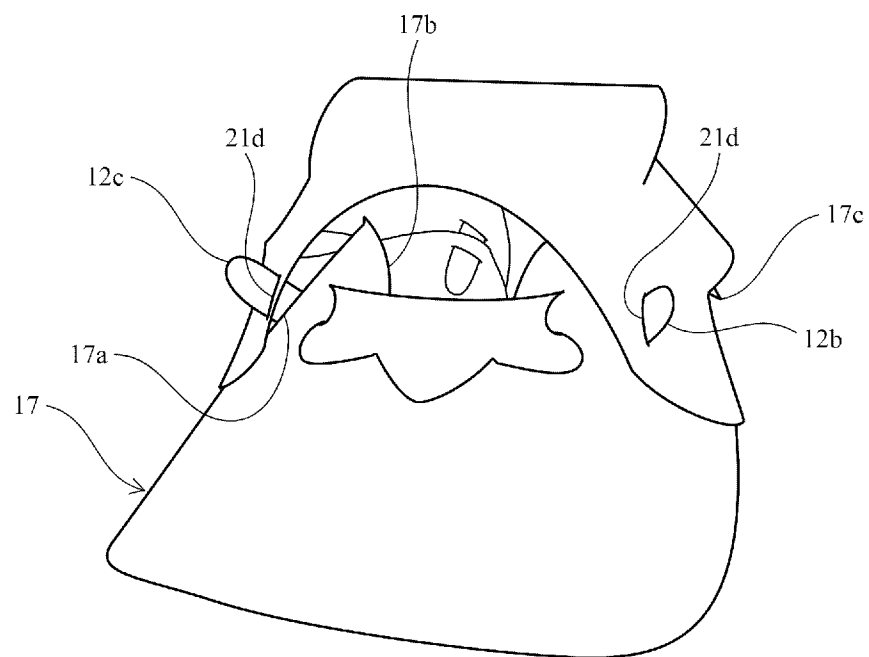
[図11]



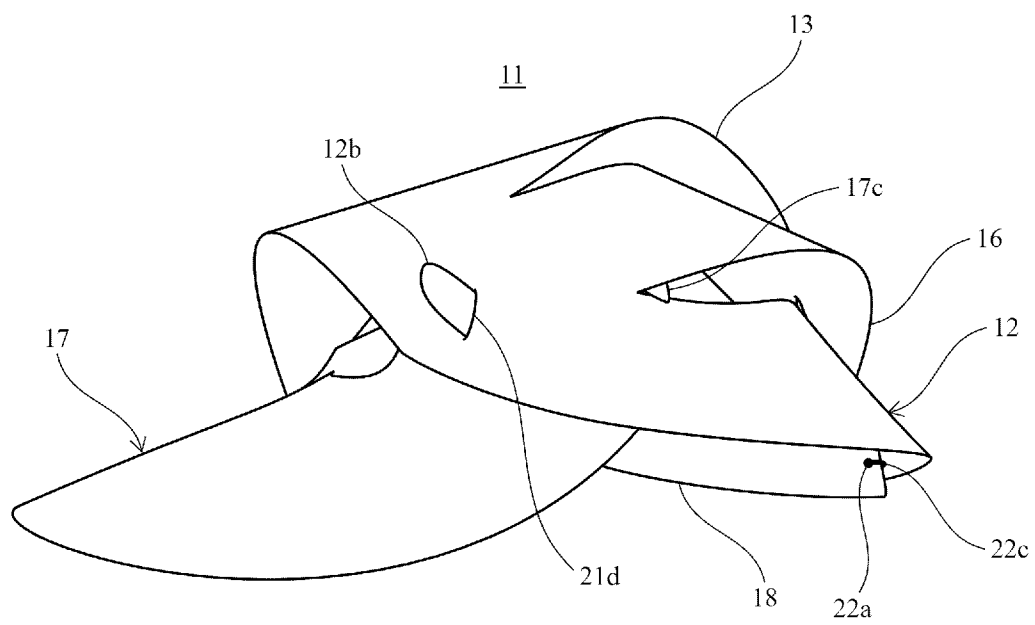
[図12]



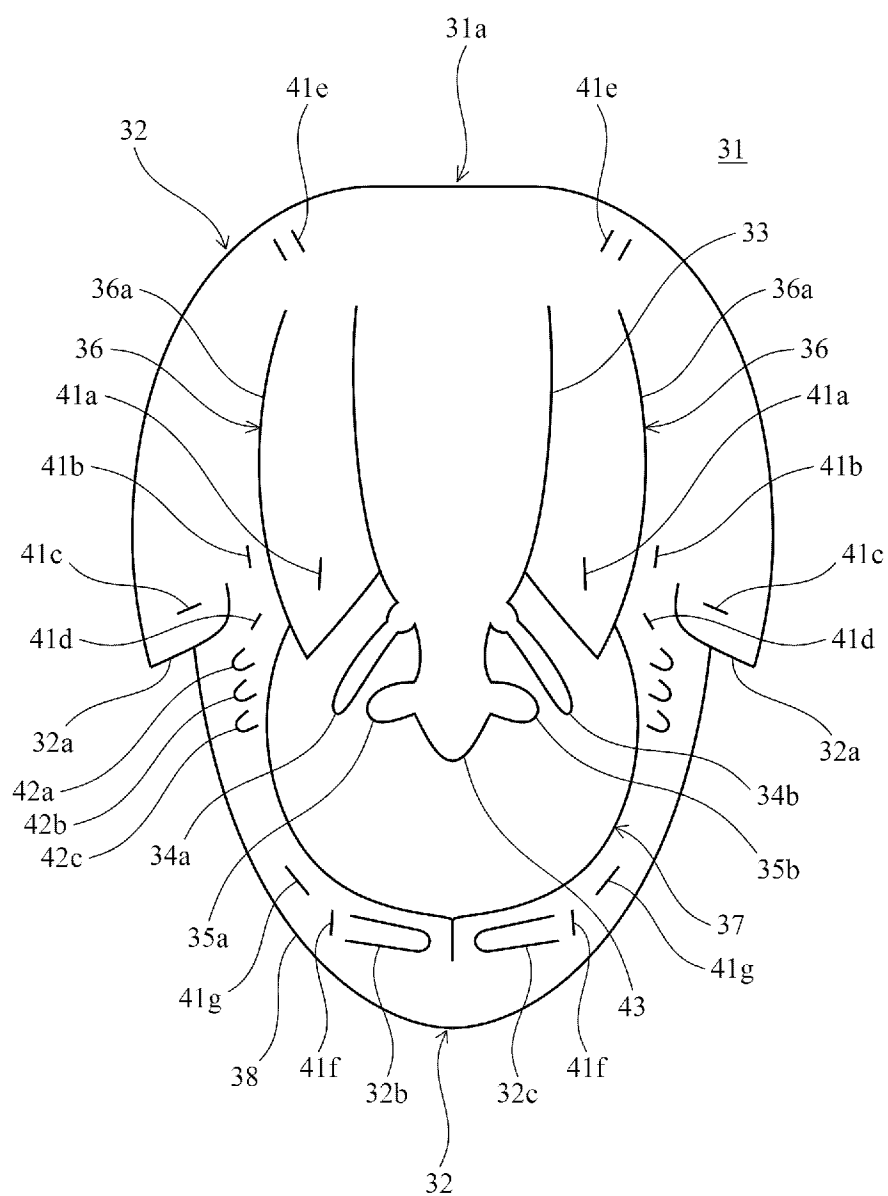
[図13]



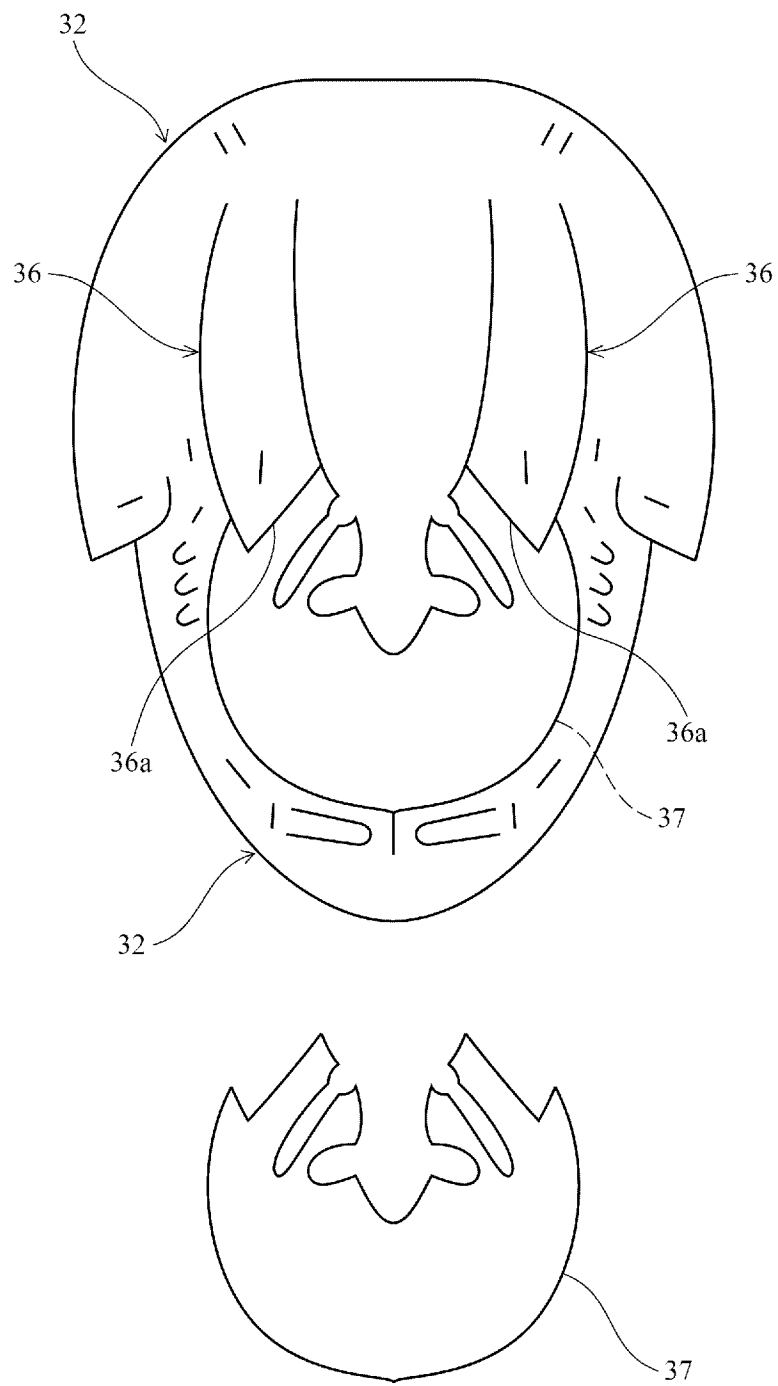
[図14]



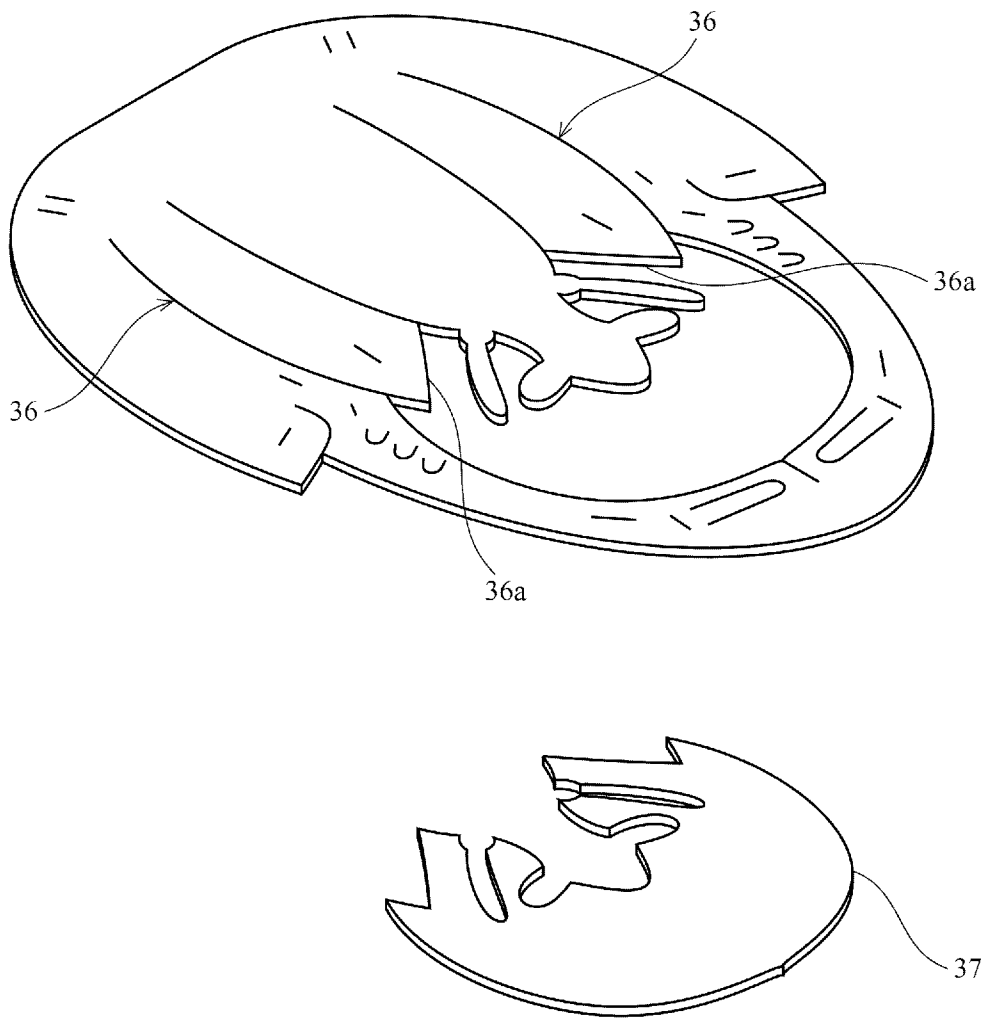
[図15]



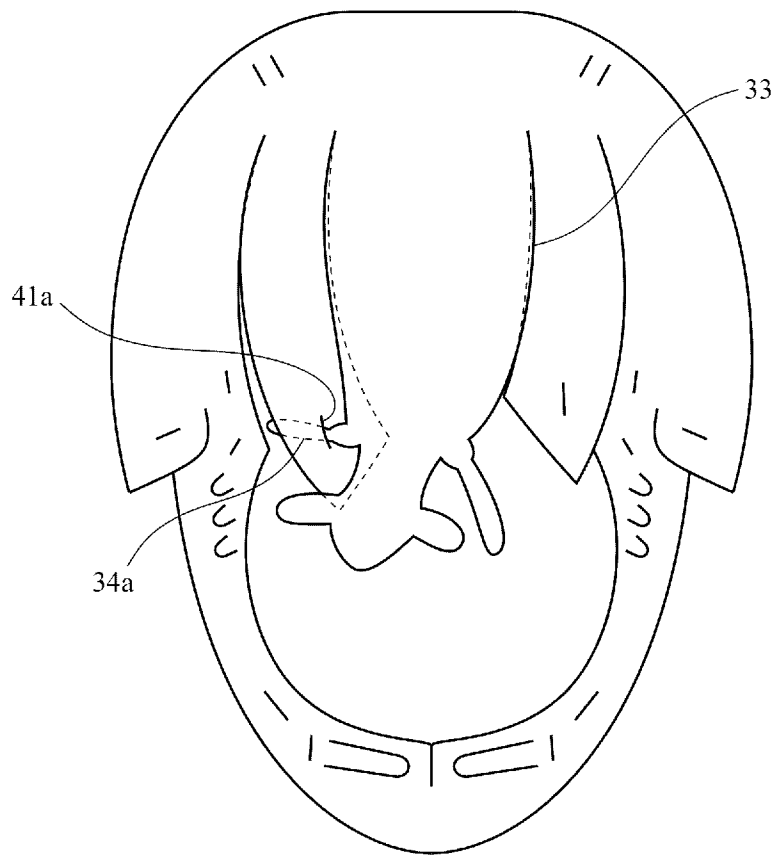
[図16]



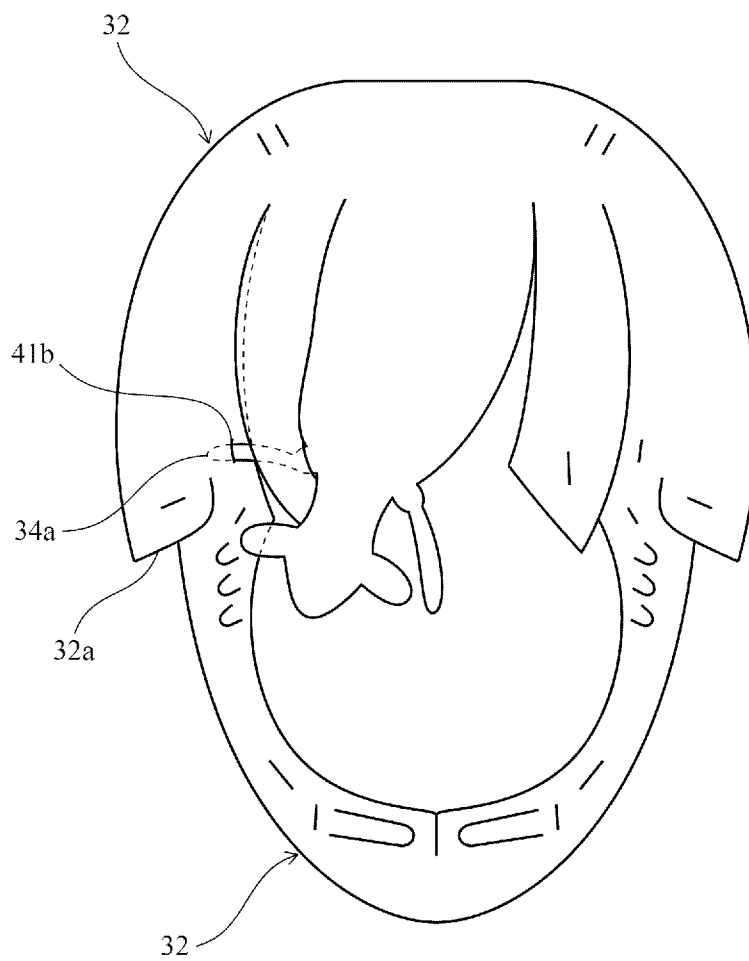
[図17]



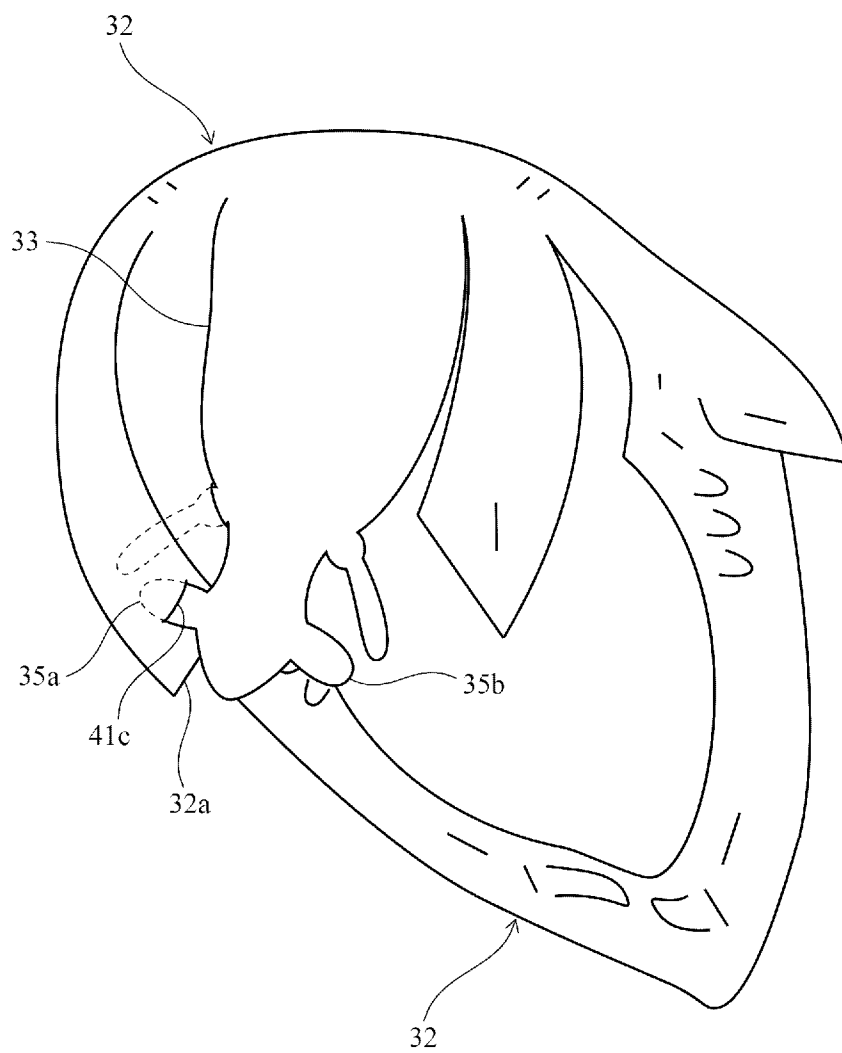
[図18]



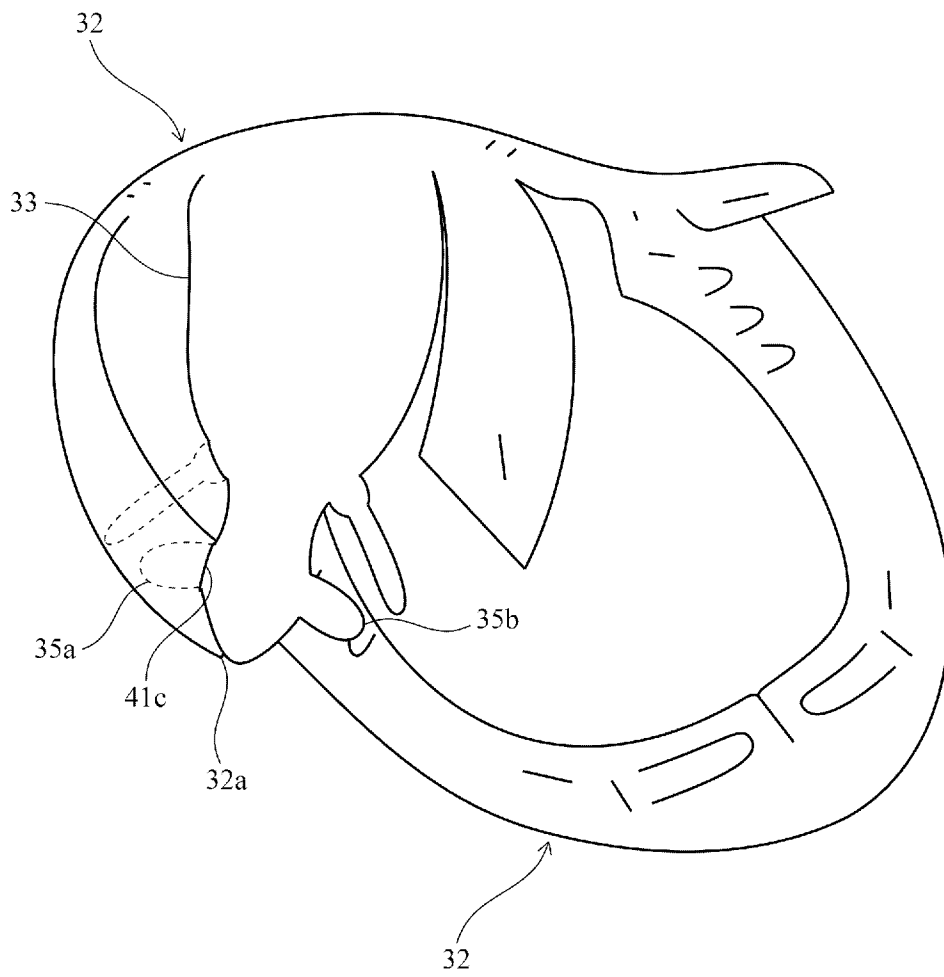
[図19]



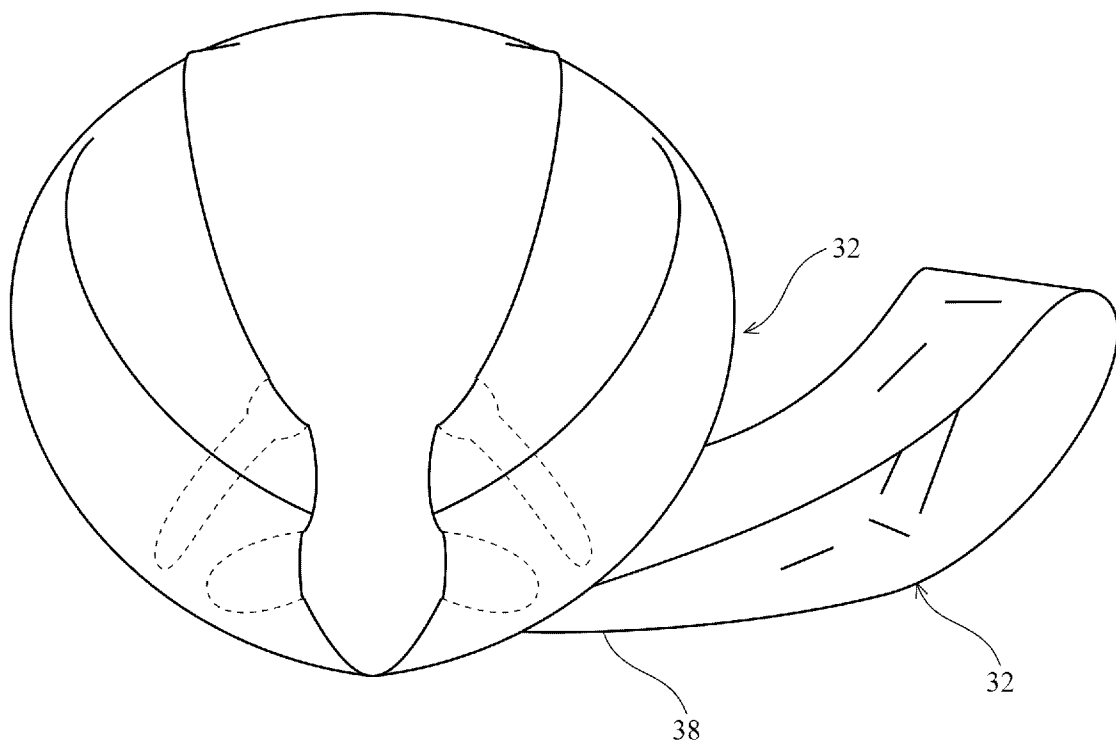
[図20]



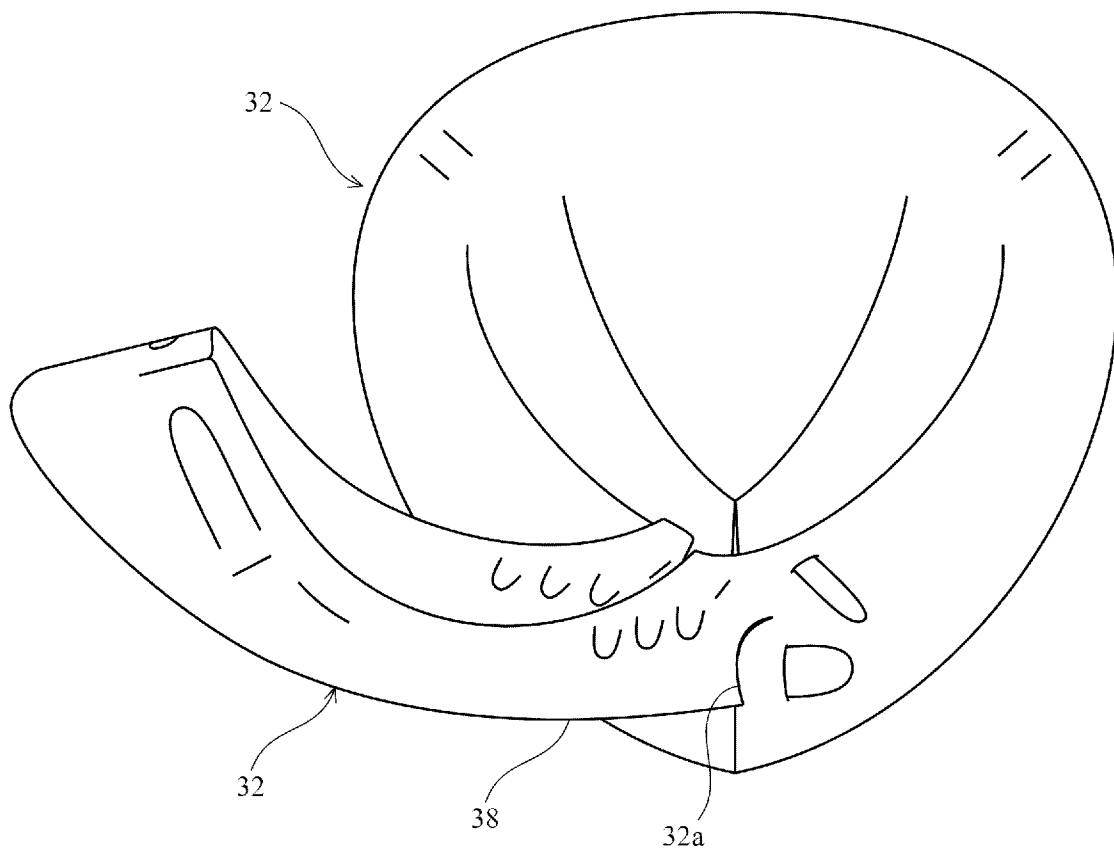
[図21]



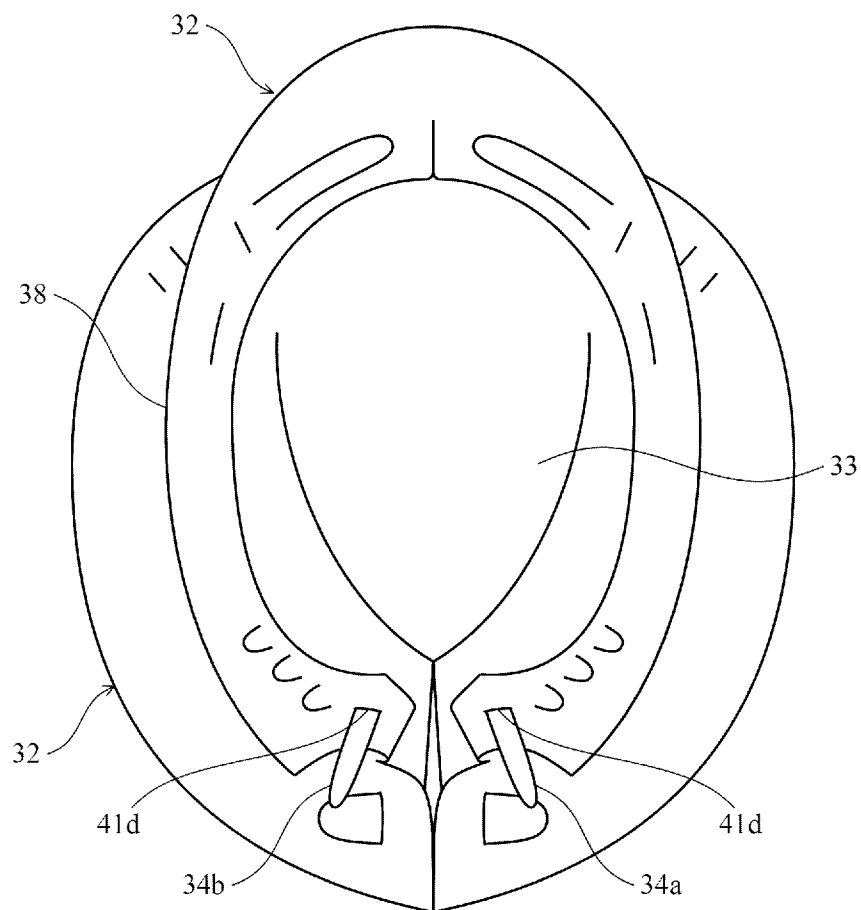
[図22]



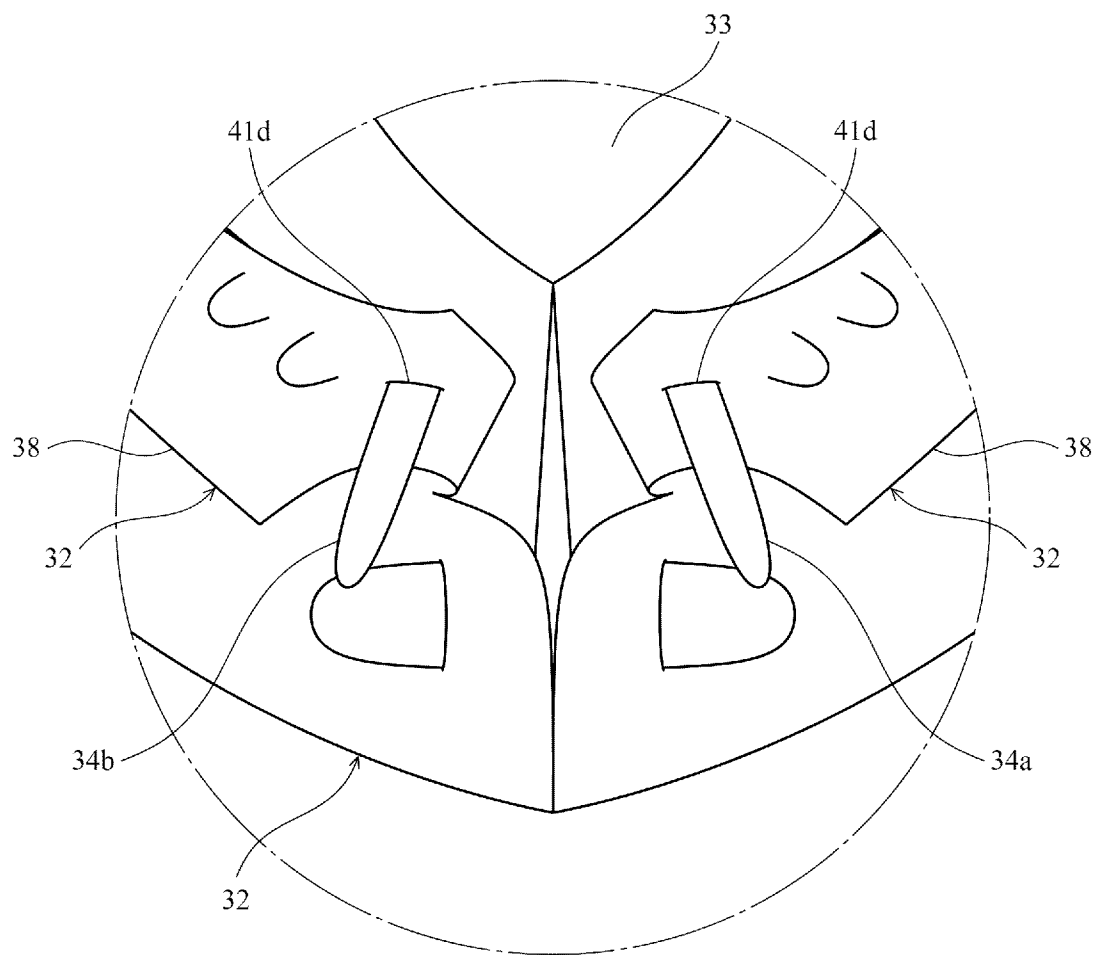
[図23]



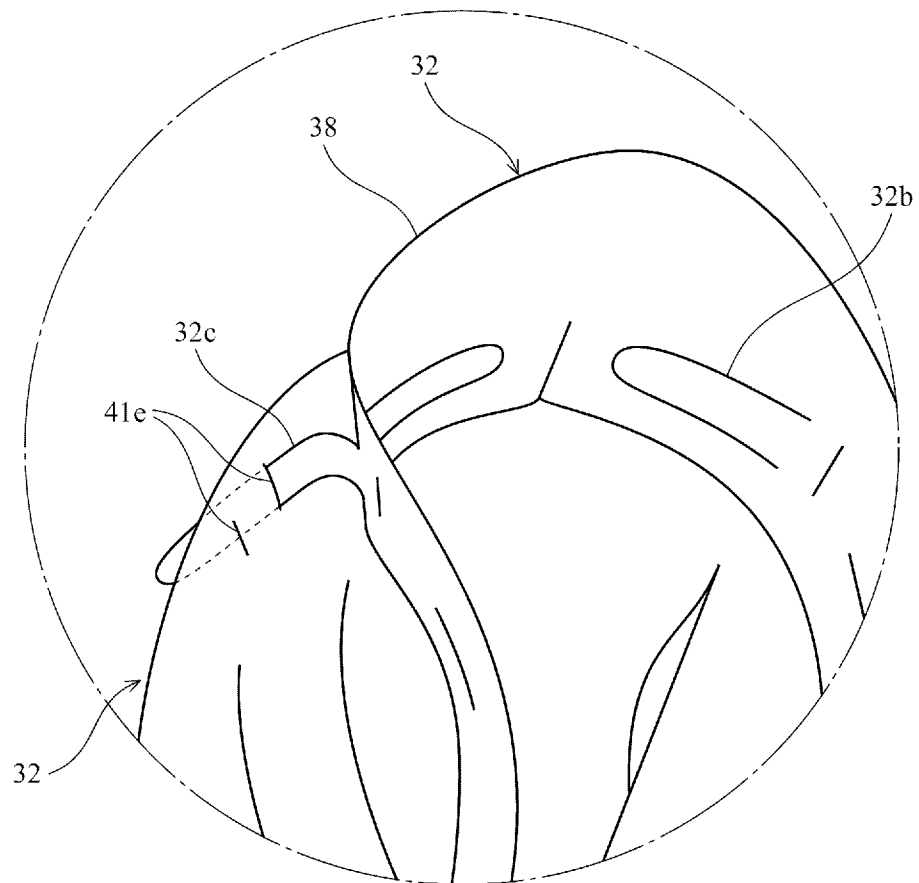
[図24]



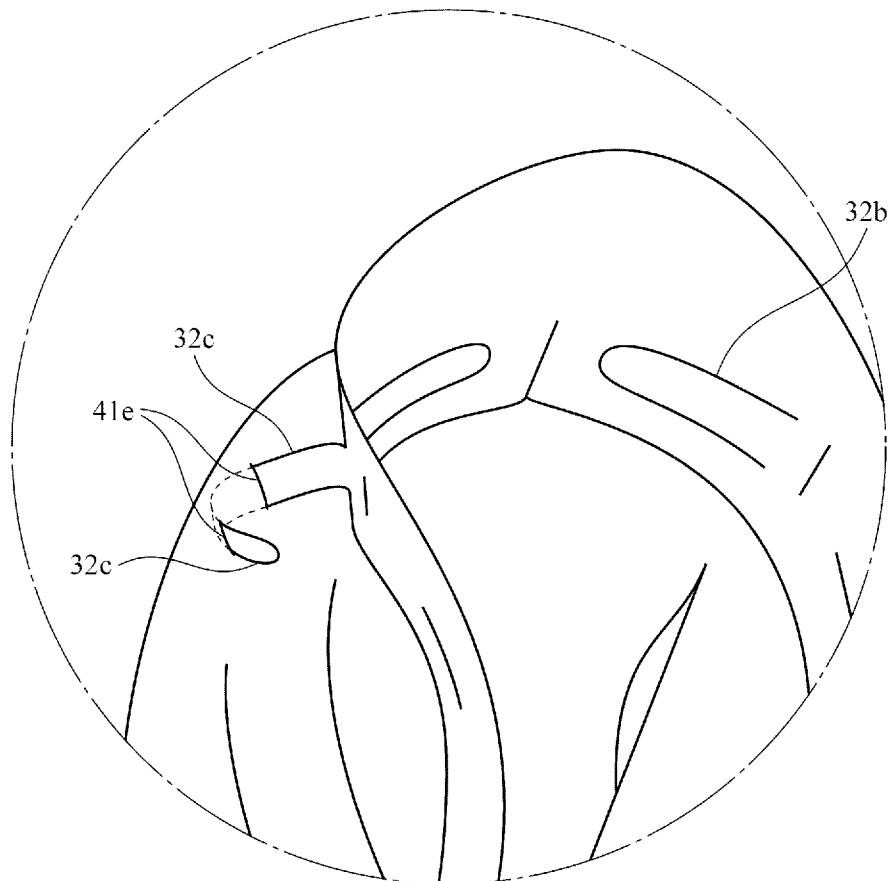
[図25]



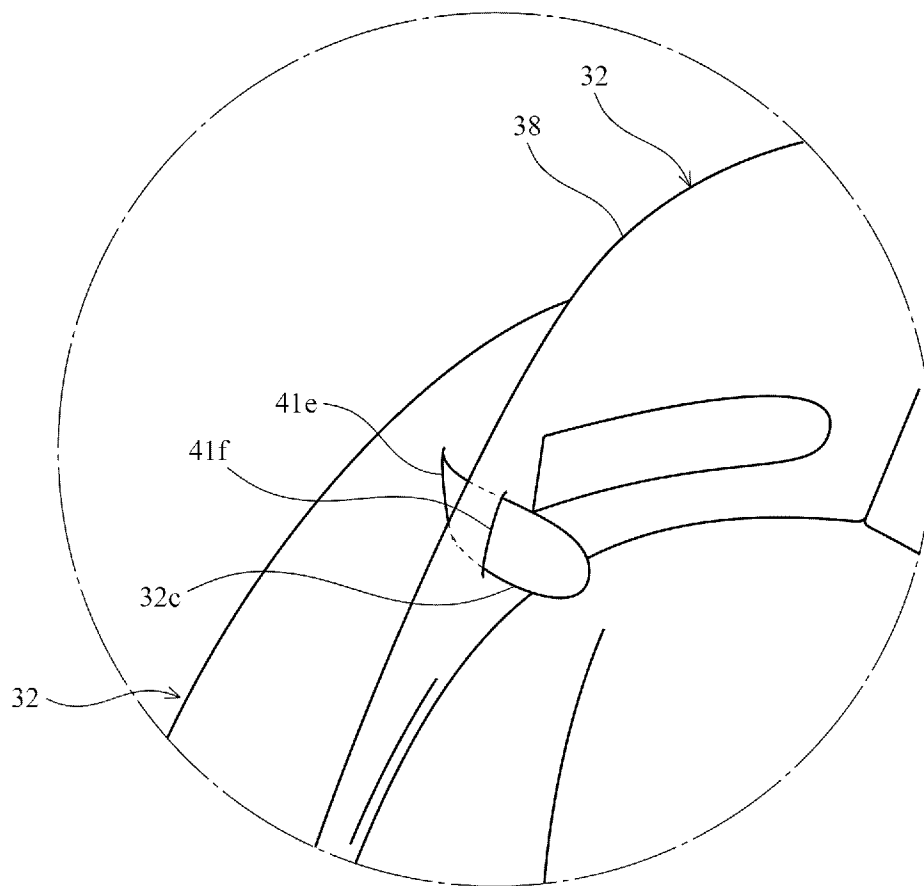
[図26]



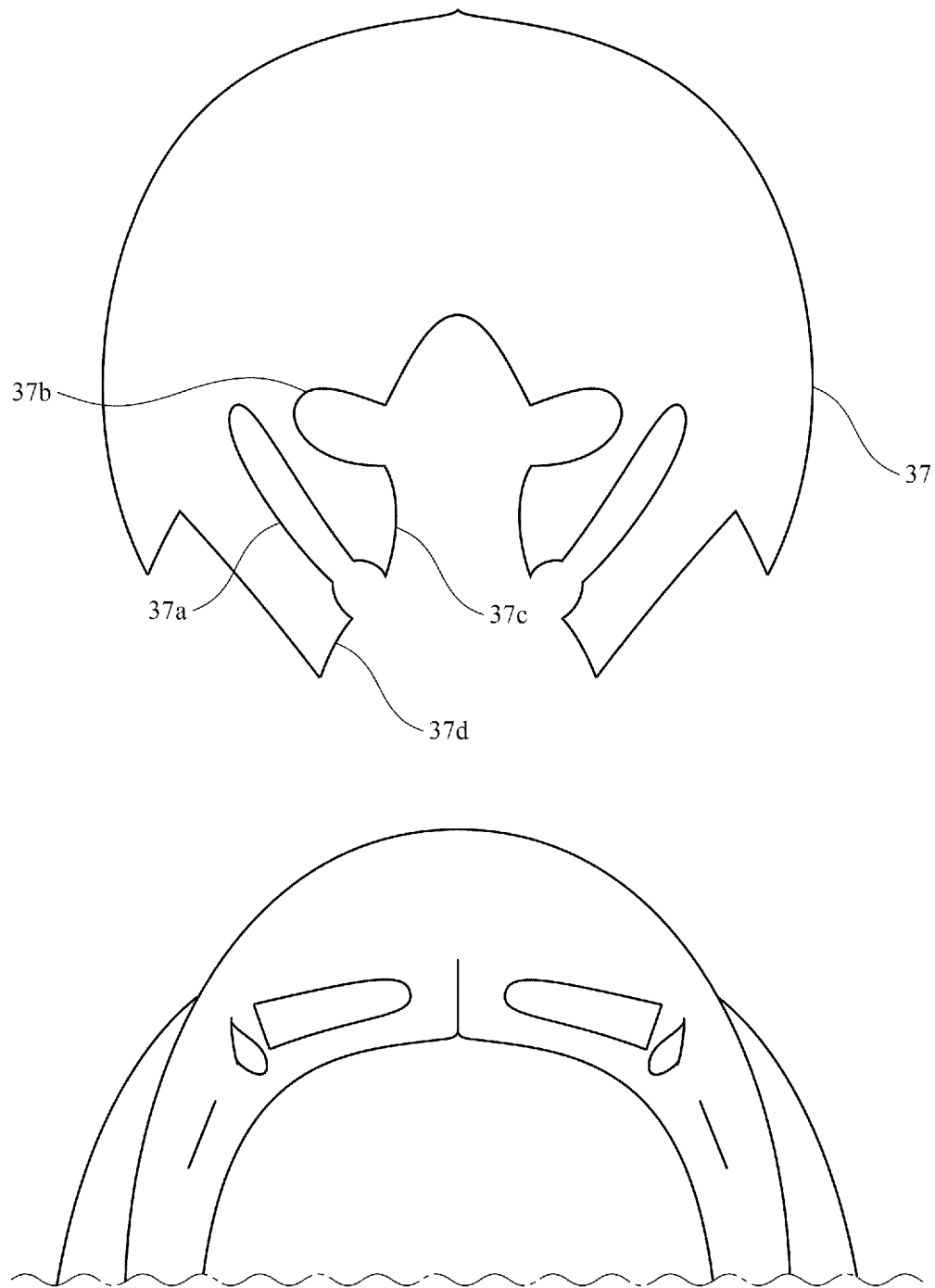
[図27]



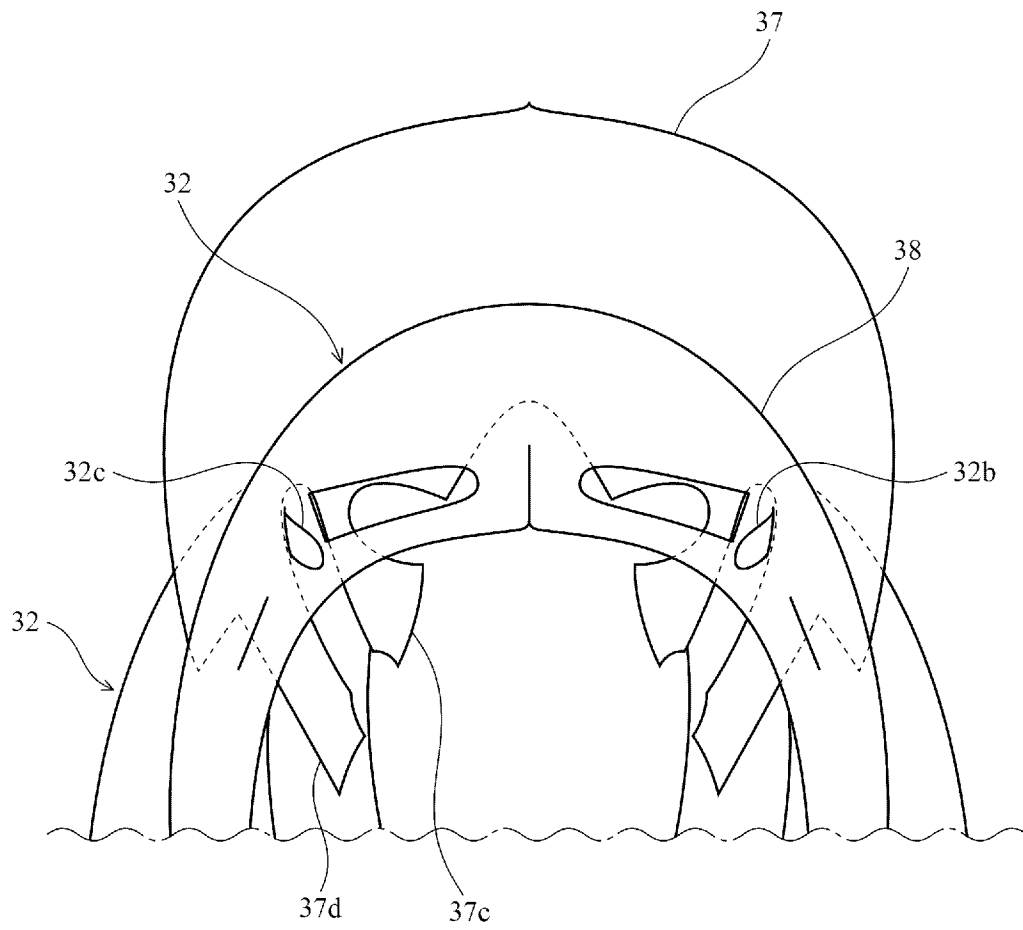
[図28]



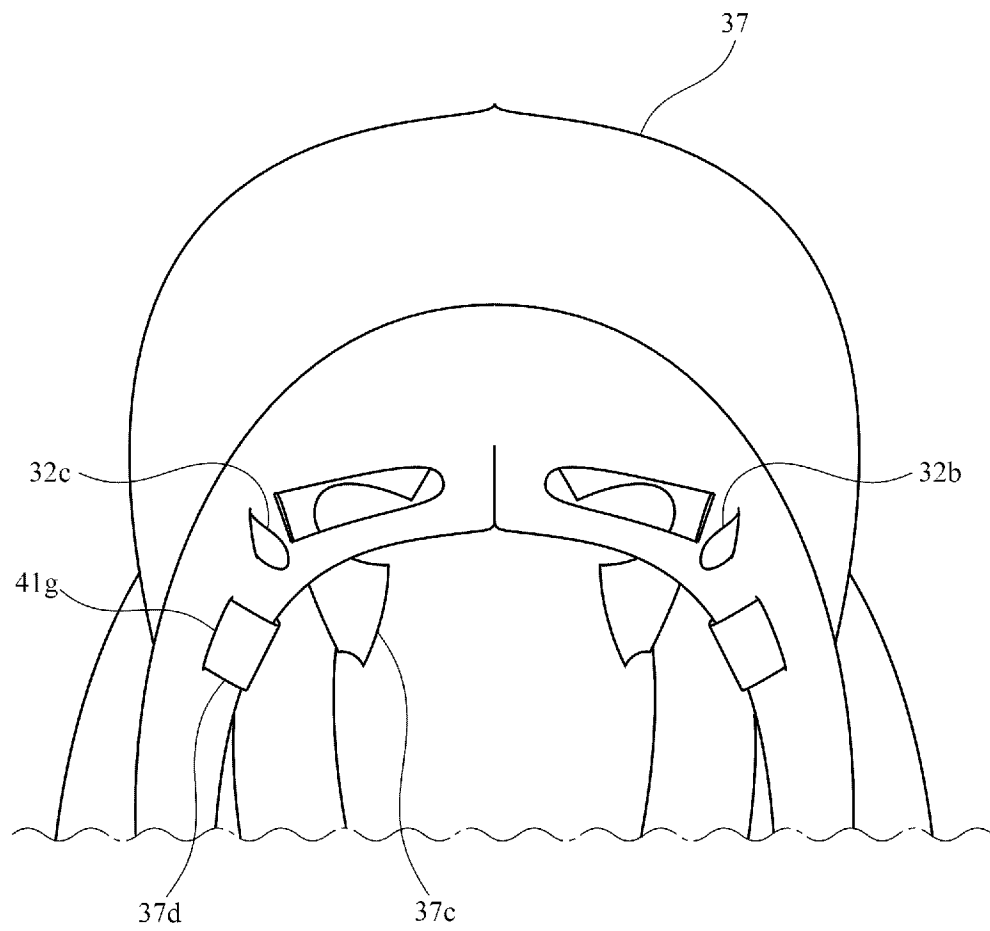
[図29]



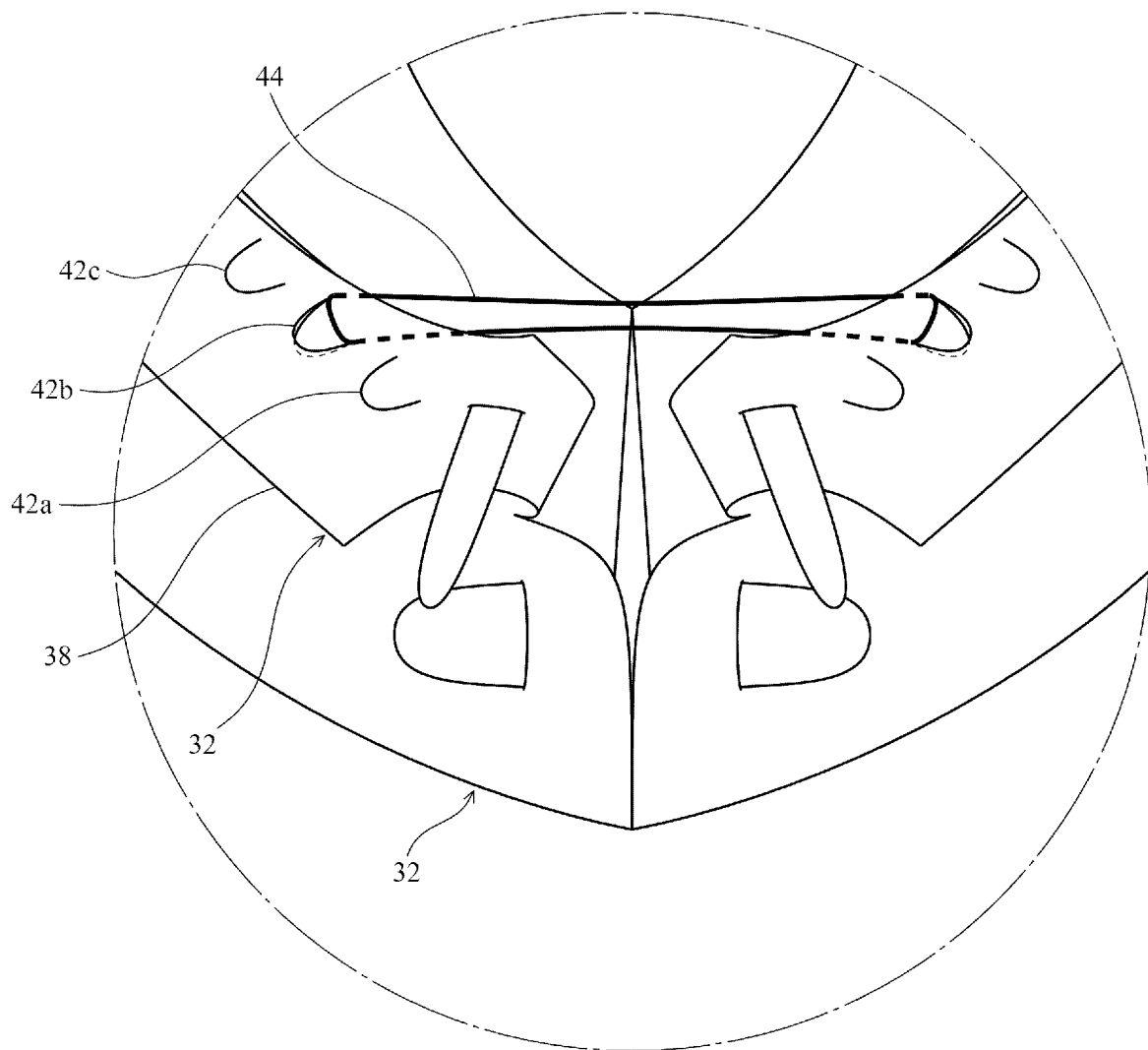
[図30]



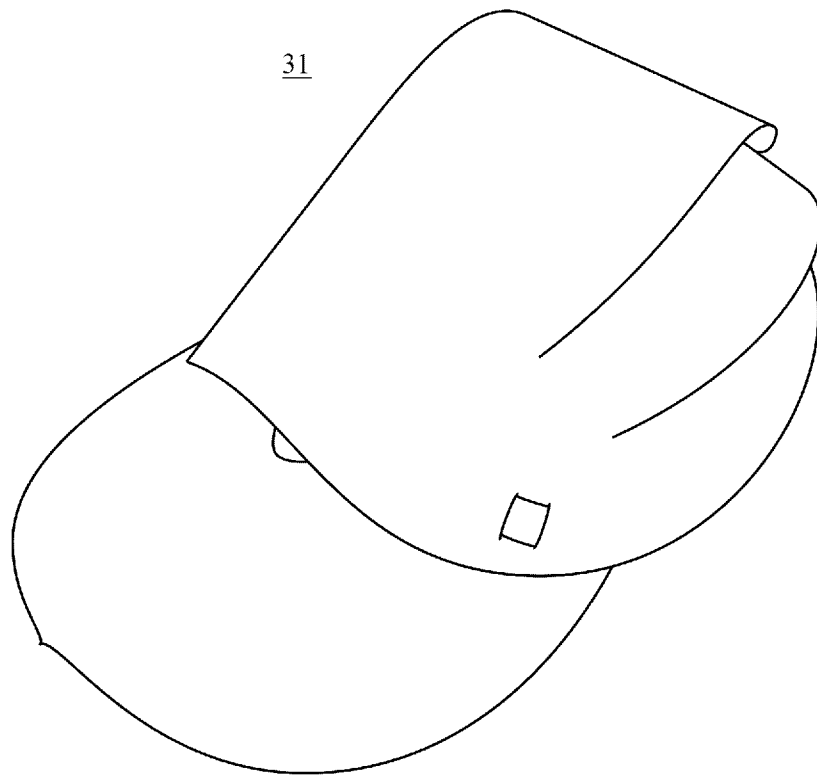
[図31]



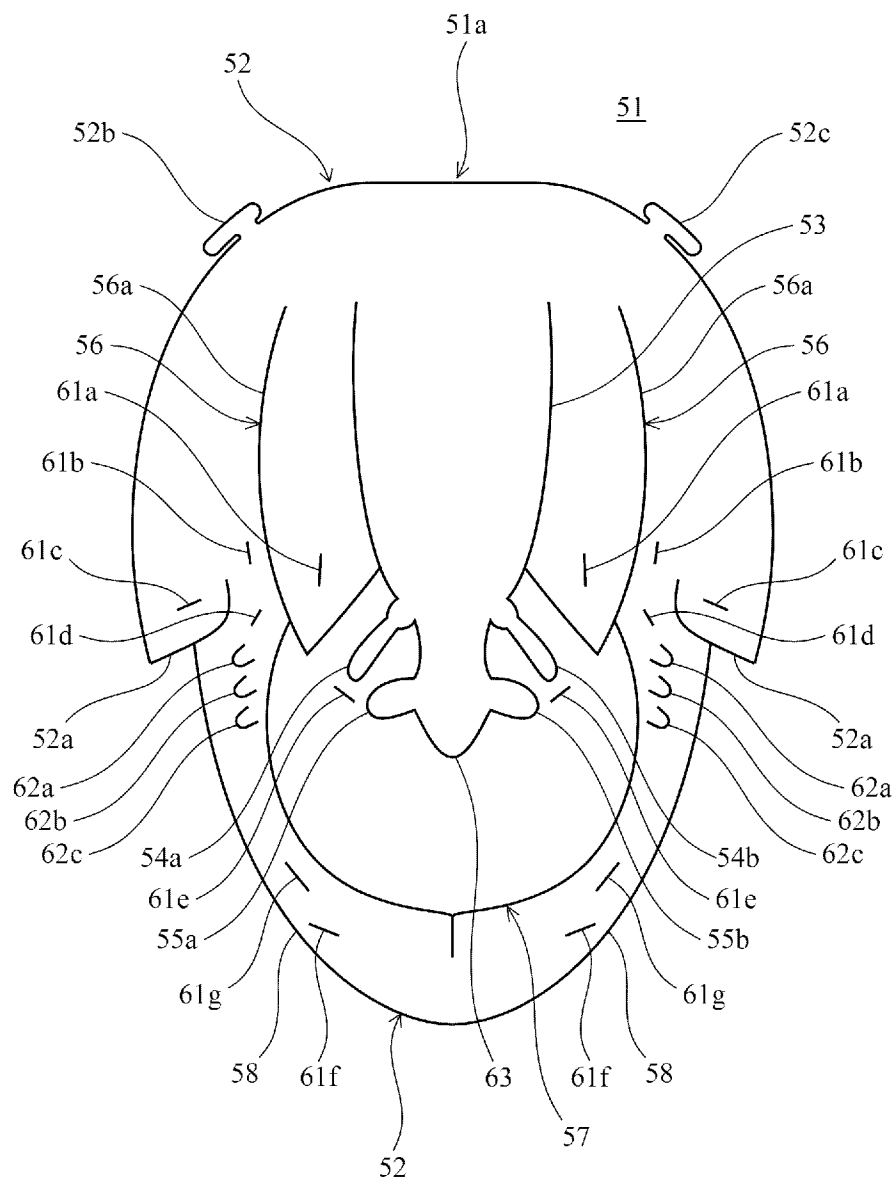
[図32]



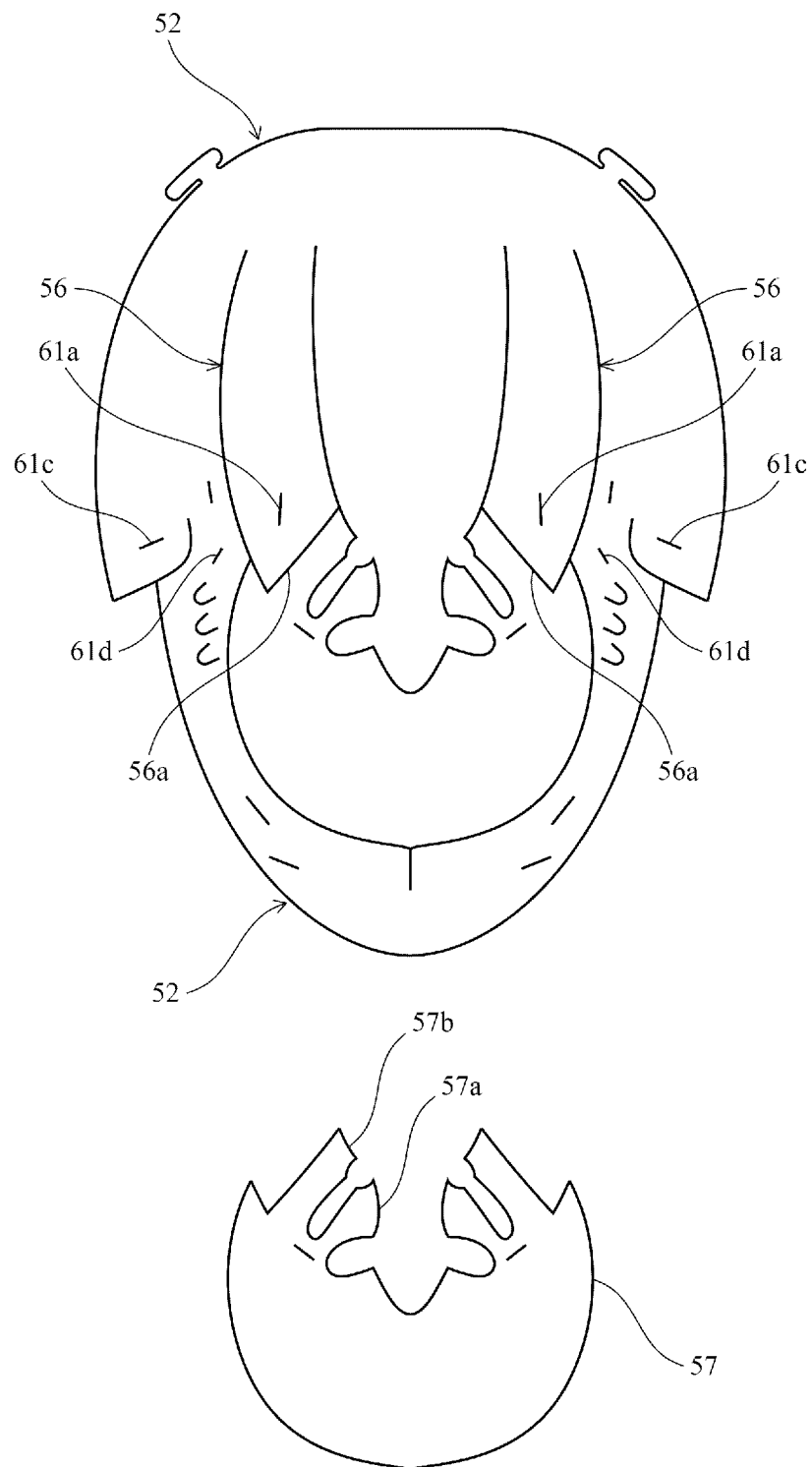
[図33]



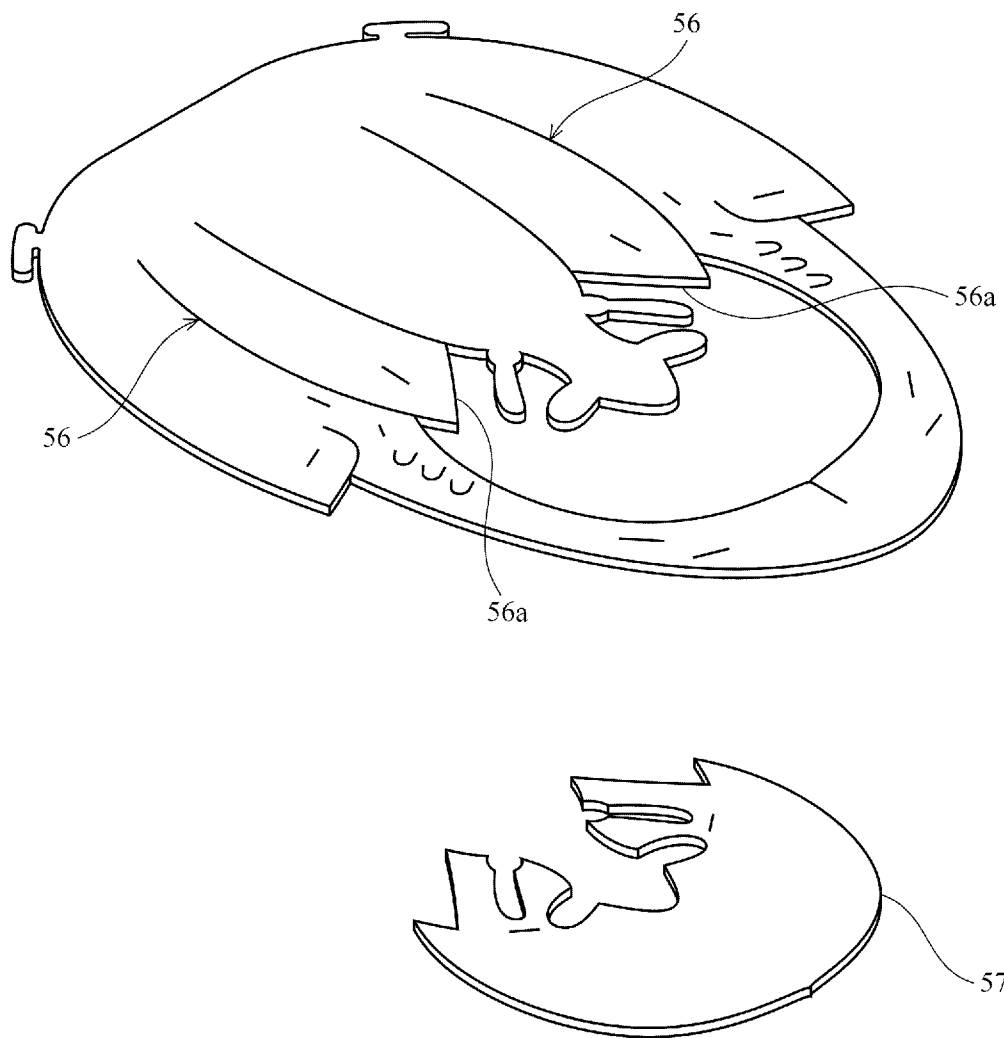
[図34]



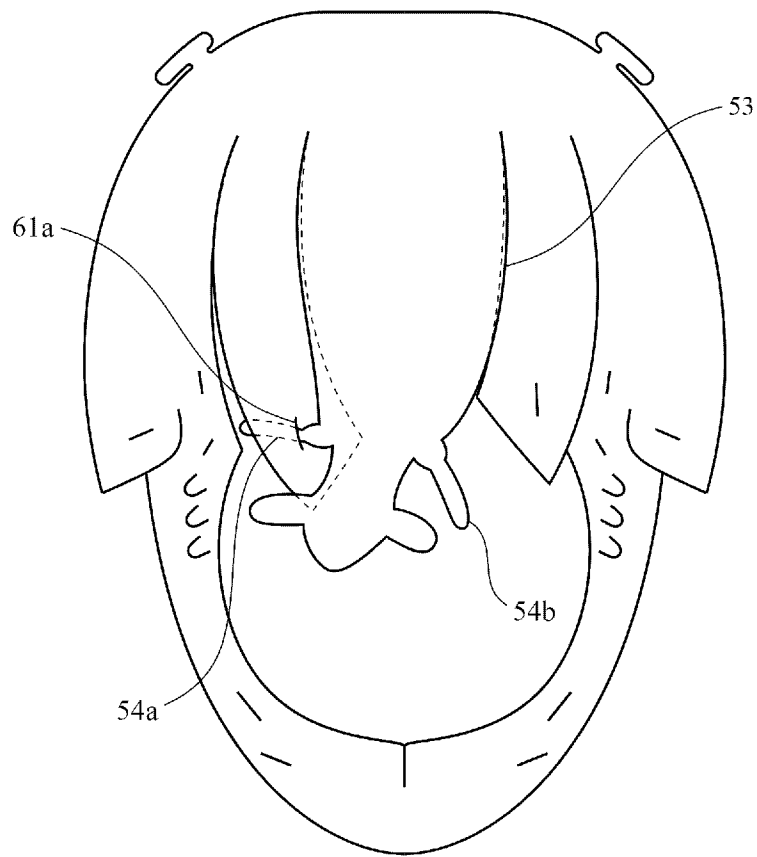
[図35]



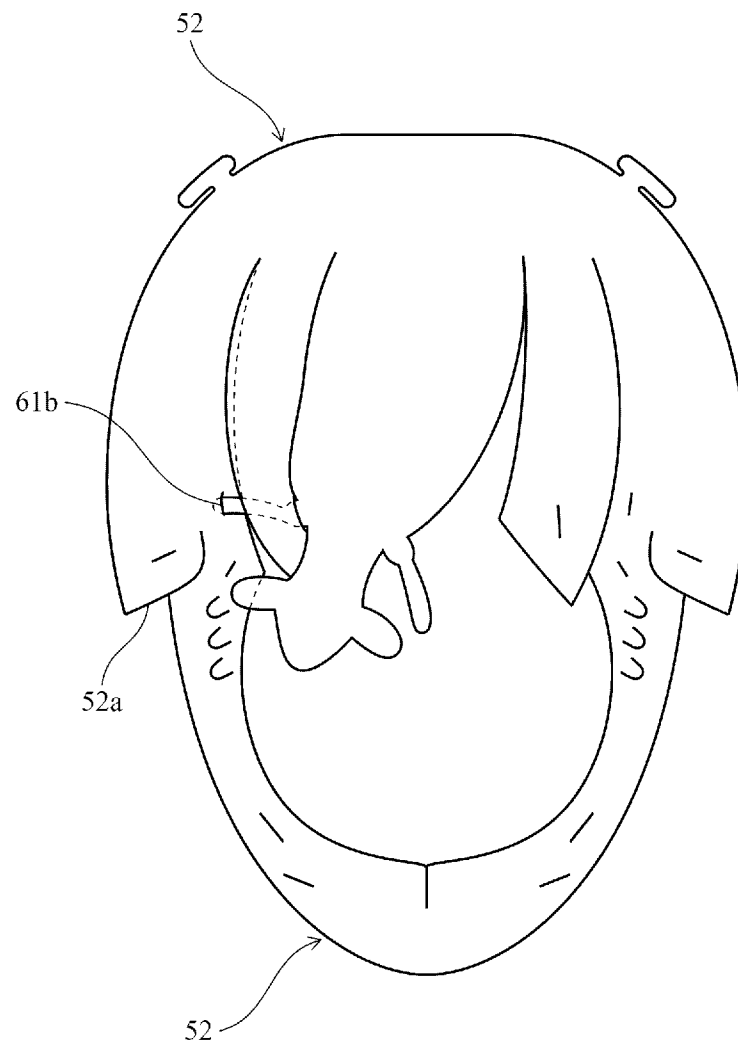
[図36]



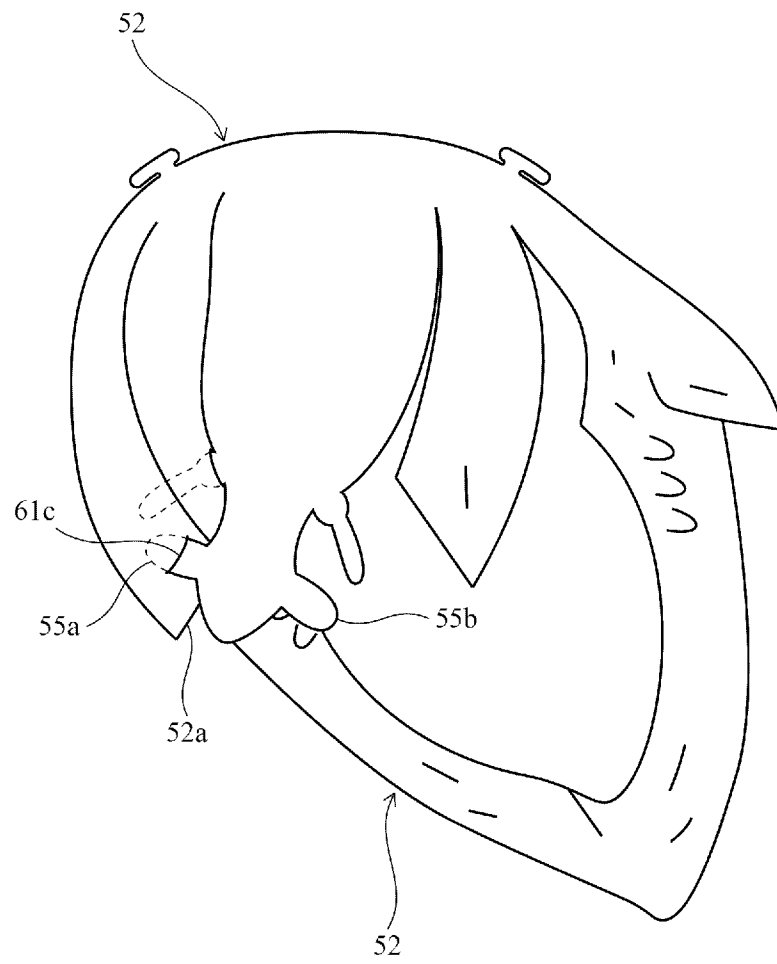
[図37]



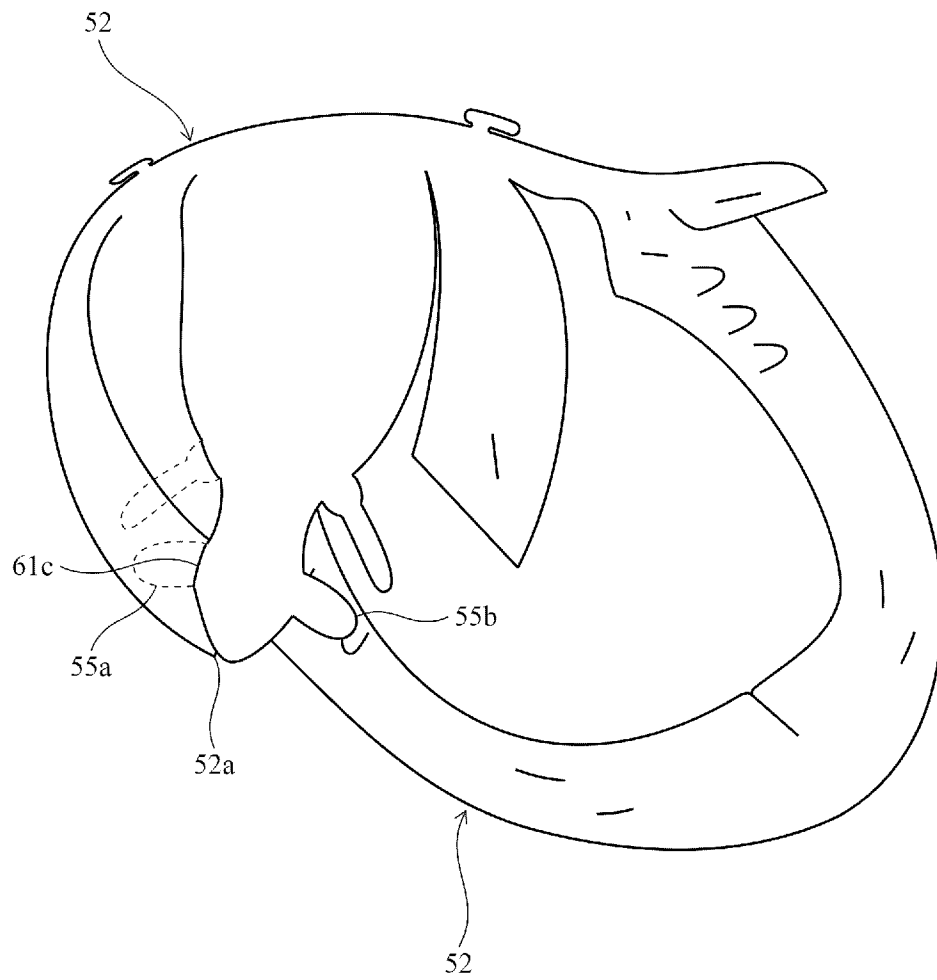
[図38]



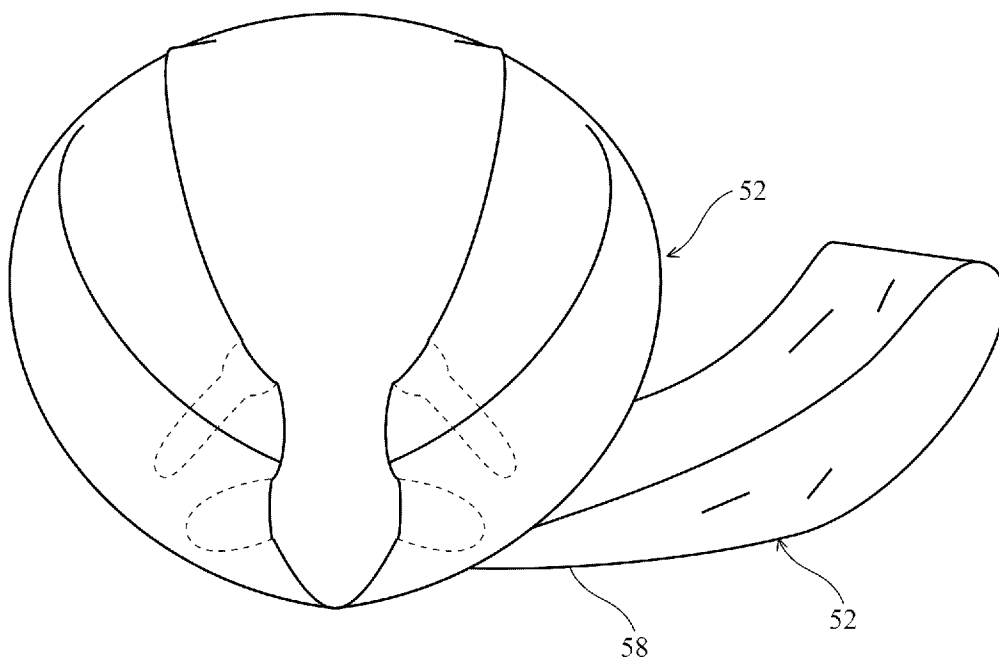
[図39]



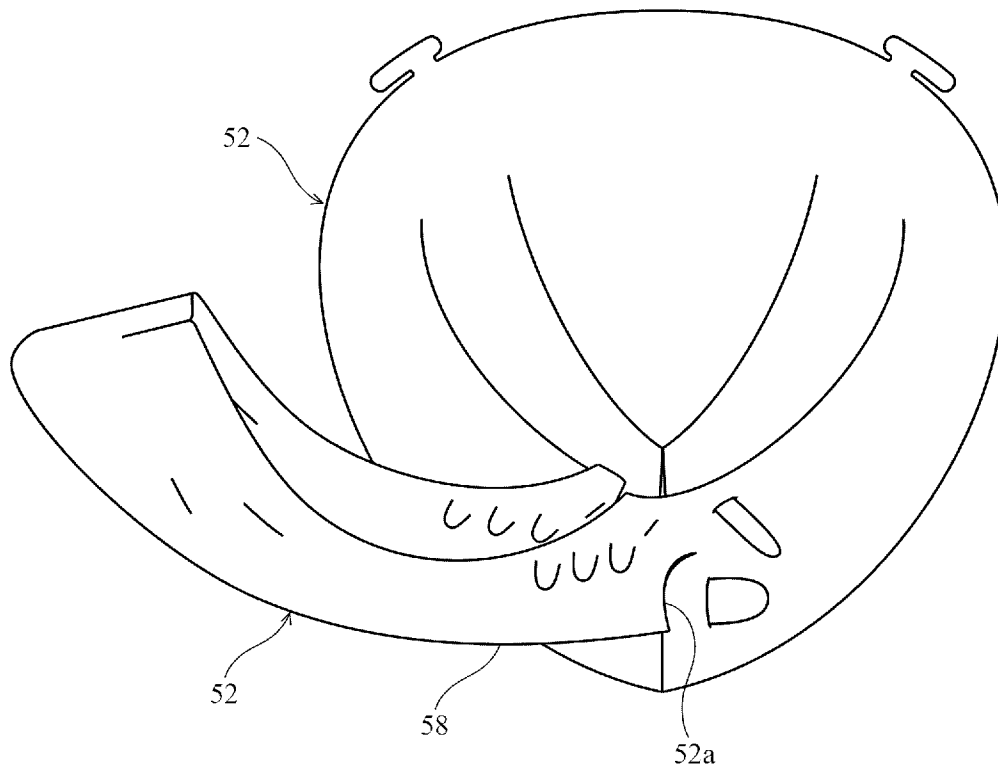
[図40]



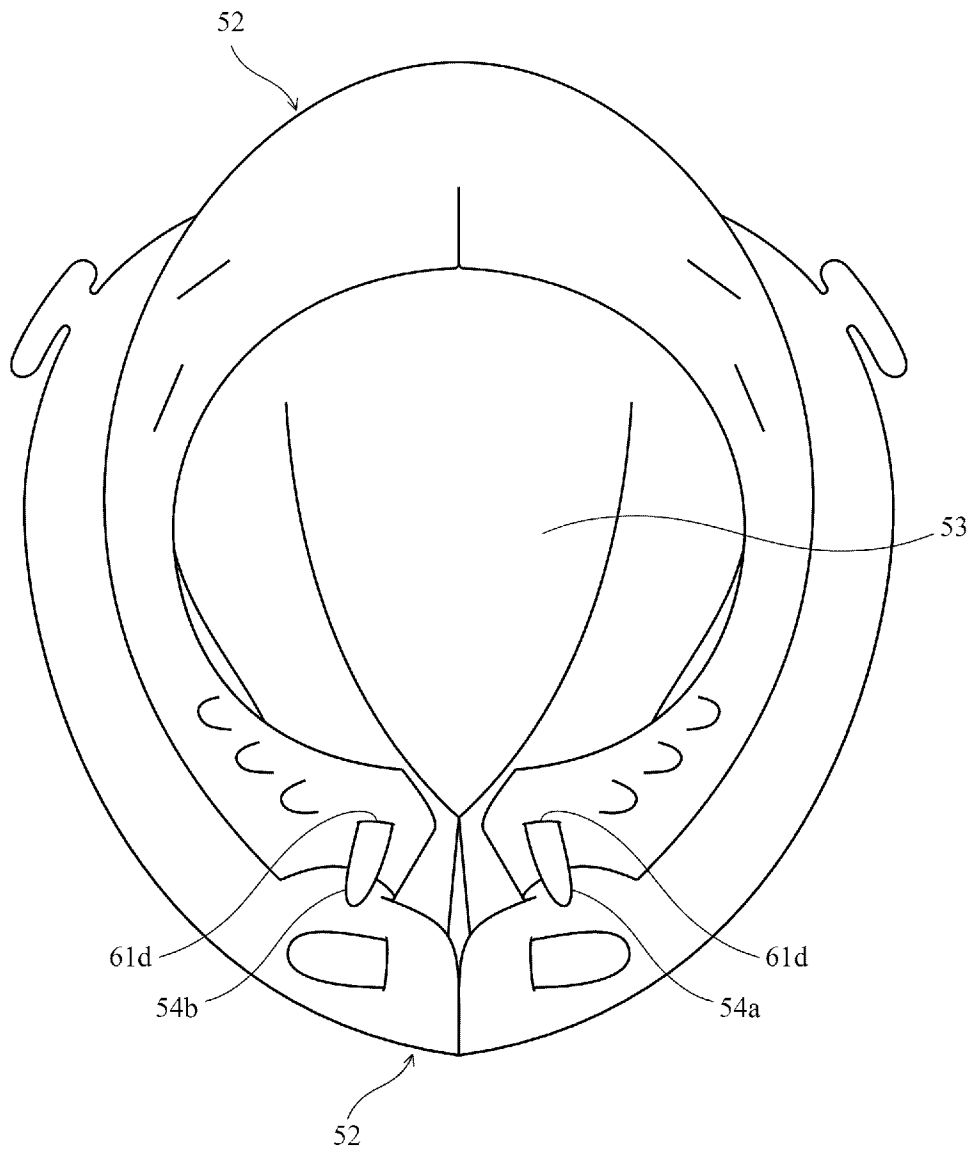
[図41]



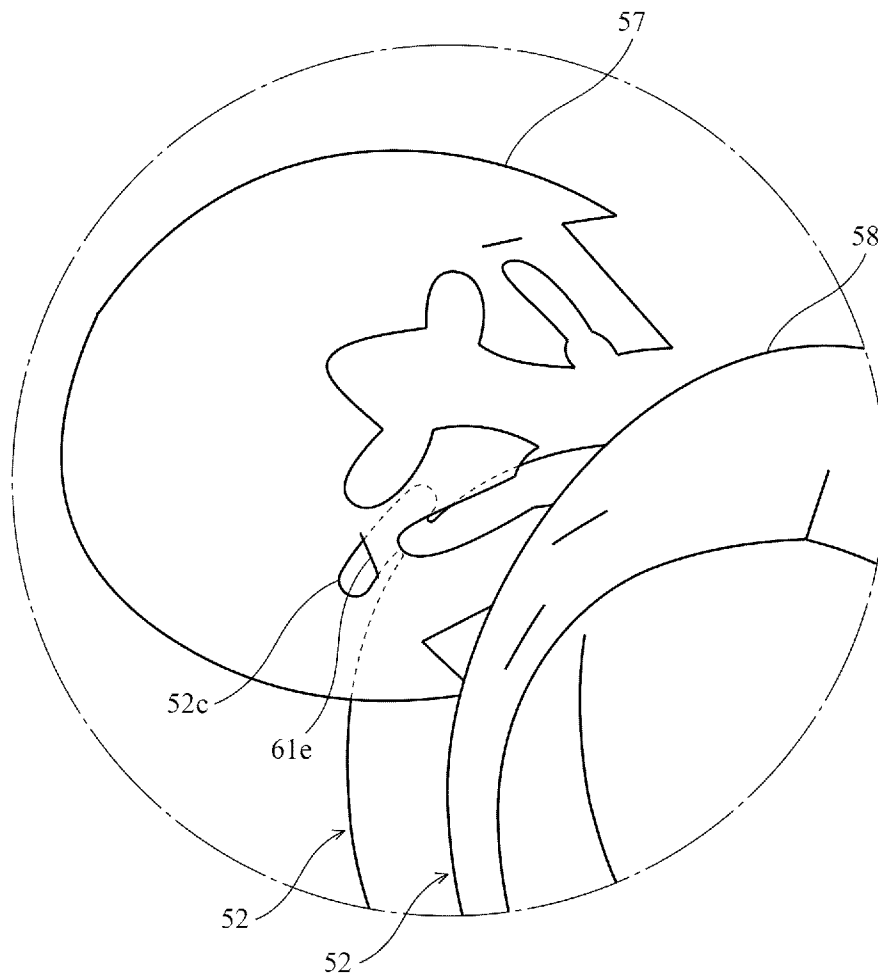
[図42]



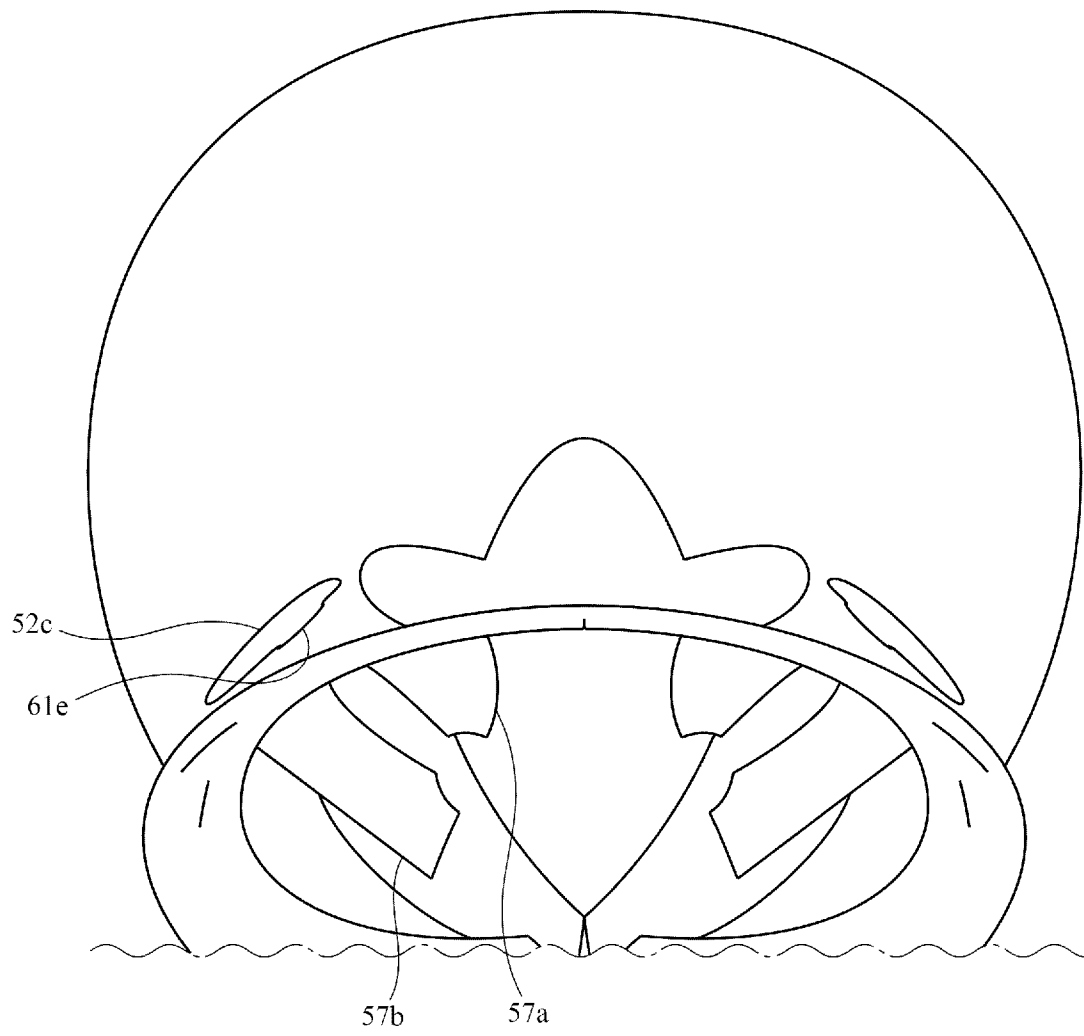
[図43]



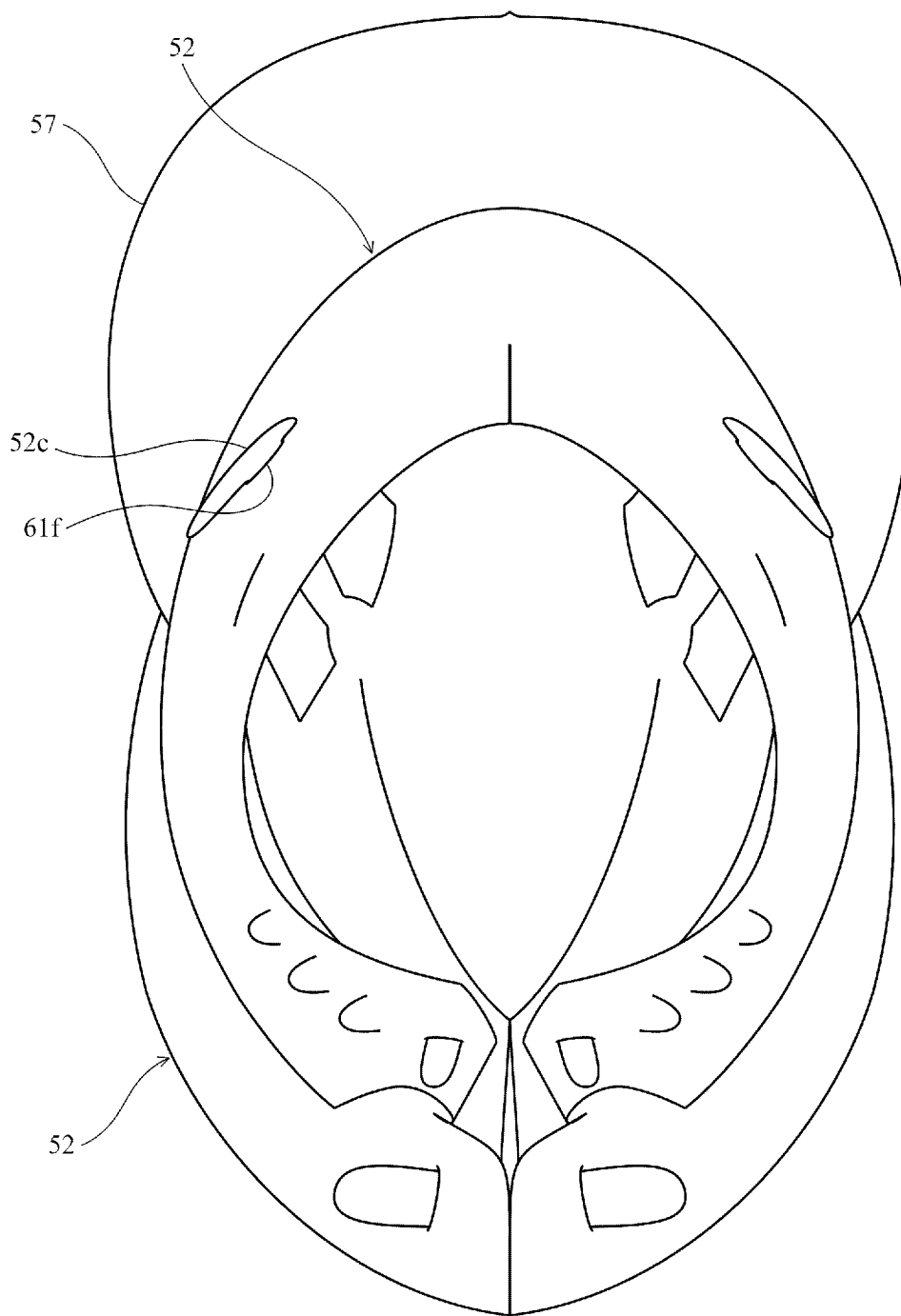
[図45]



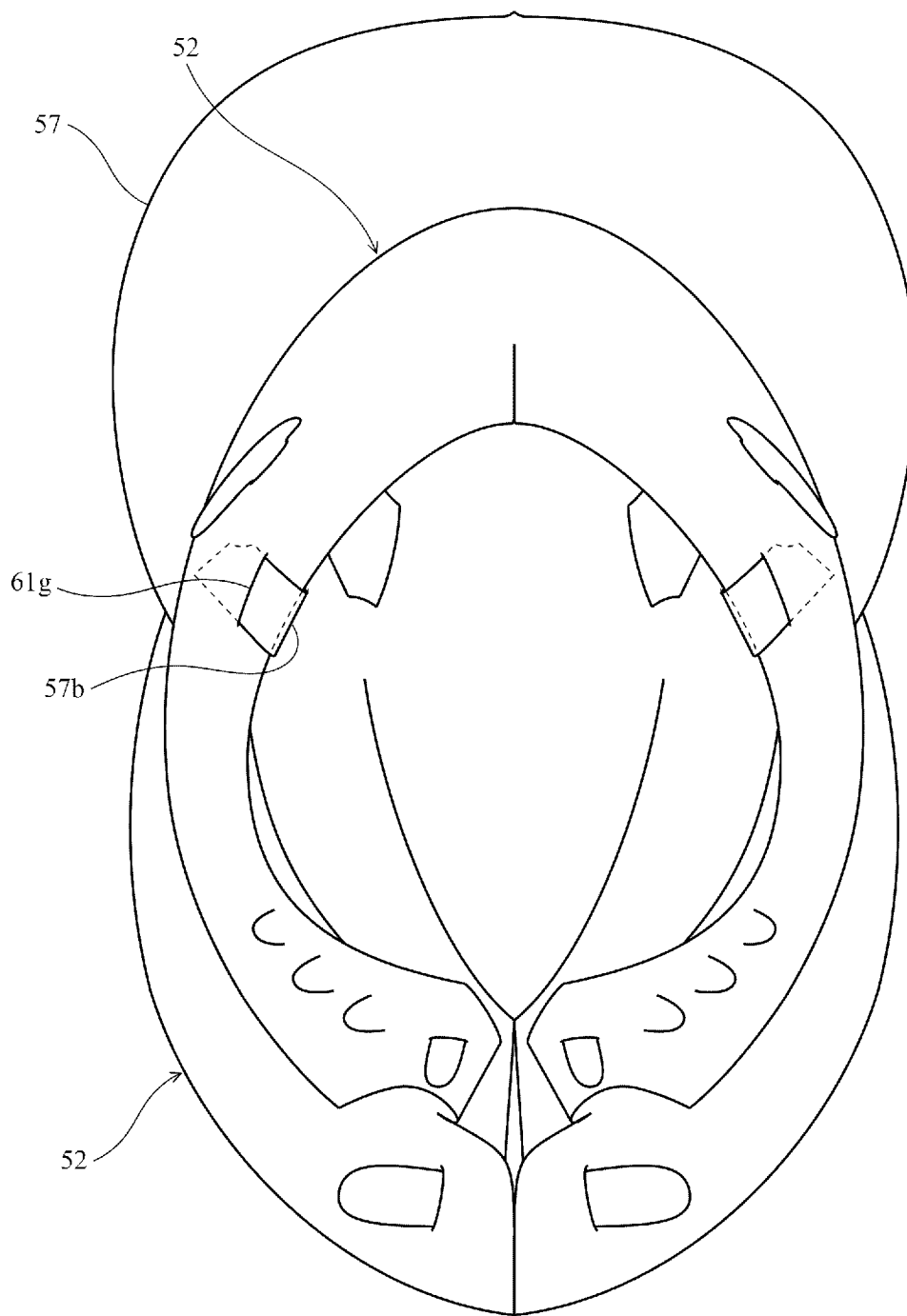
[図47]



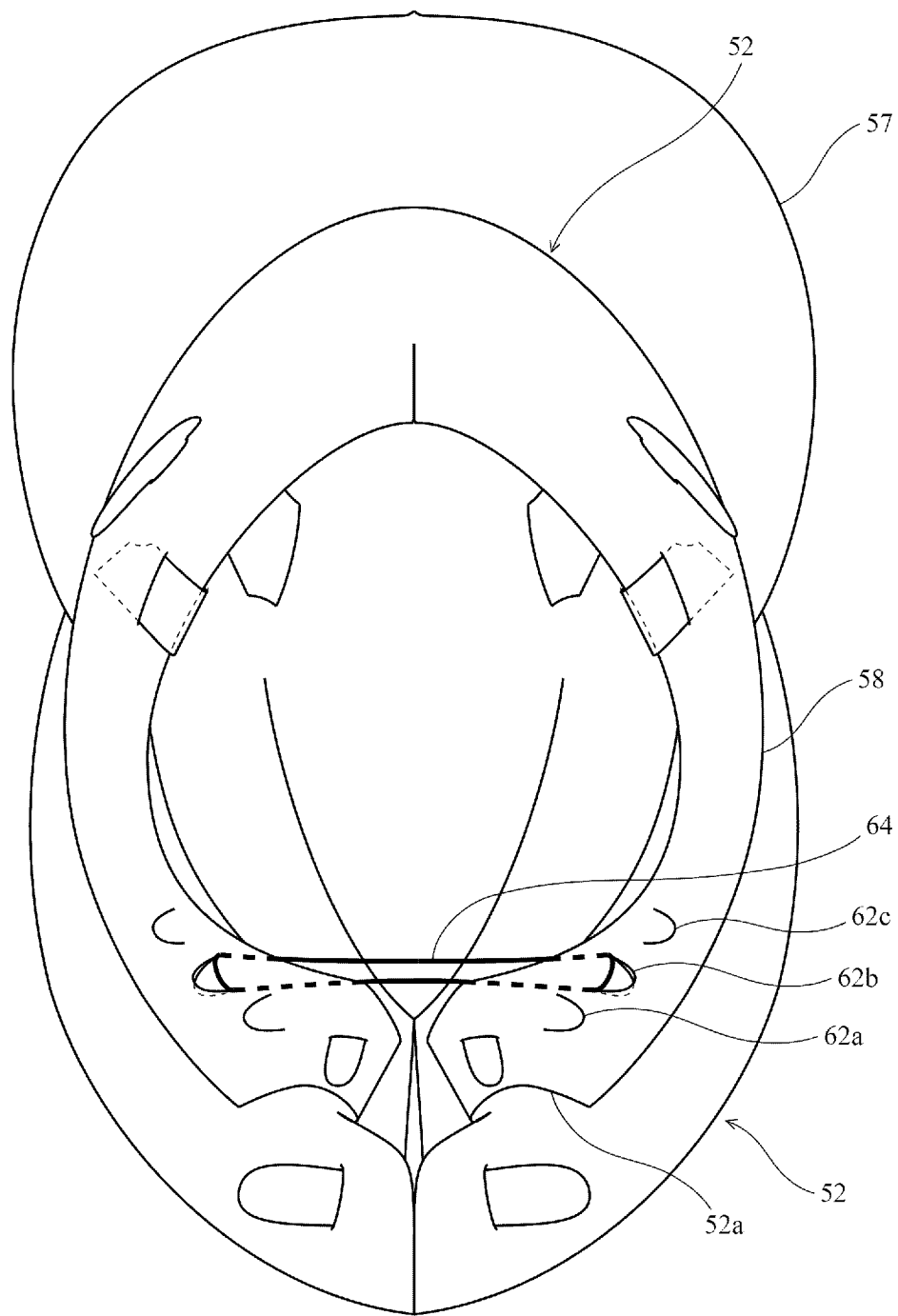
[図48]



[図49]



[図50]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/065392

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A42B1/20(2006.01)i, A42B1/00(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A42B1/20, A42B1/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2014
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2014	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2014

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 3143680 U (Koichi ICHIKAWA), 31 July 2008 (31.07.2008), fig. 1 to 5 (Family: none)	1-4
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 35893/1989(Laid-open No. 125925/1990) (Jun'ichi KATO), 17 October 1990 (17.10.1990), fig. 1 to 6 (Family: none)	1-4

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
30 July, 2014 (30.07.14)

Date of mailing of the international search report
12 August, 2014 (12.08.14)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/065392

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2009-057674 A (Hiroaki NAGASHIMA), 19 March 2009 (19.03.2009), fig. 1 to 4 (Family: none)	1-4
A	US 2002/0178486 A1 (Vladimir Ivanovich KOVALENKO), 05 December 2002 (05.12.2002), fig. 1 to 6 & RU 2196492 C1	1-4

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. A42B1/20(2006.01)i, A42B1/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. A42B1/20, A42B1/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 4 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 4 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 4 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 3143680 U（市川功一）2008.07.31, 第1-5図（ファミリーなし）	1-4
A	日本国実用新案登録出願1-35893号（日本国実用新案登録出願公開2-125925号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（加藤純一）1990.10.17, 第1-6図（ファミリーなし）	1-4
A	JP 2009-057674 A（長嶋浩彰）2009.03.19, 第1-4図（ファミリーなし）	1-4

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

3 0 . 0 7 . 2 0 1 4

国際調査報告の発送日

1 2 . 0 8 . 2 0 1 4

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

新田 亮二

3 B

3 4 8 6

電話番号 03-3581-1101 内線 3320

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	US 2002/0178486 A1 (Vladimir Ivanovich KOVALENKO) 2002.12.05, 第 1 - 6 図 & RU 2196492 C1	1 - 4